

2015 年度調査研究事業  
女性就労の支援事業研究会 報告書  
地域人づくり事業を通じた女性の再就職について

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

女性就労の支援事業研究会

2016 年 3 月 31 日

## 目 次

|       | 内 容                                     | 頁  |
|-------|---|----|
| 1     | はじめに                                    | 3  |
| 2     | 女性就労の支援事業研究会                            | 4  |
| 3     | 地域人づくり事業(非雇用型)                          | 5  |
|       | 結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業 事業報告 |    |
| - I   | 事業報告                                    |    |
|       | 【1】 事業概要                                |    |
|       | 【2】 事業実施後のデータより                         | 7  |
|       | 【3】 求職者支援事業の各プログラムについて                  | 10 |
|       | 【4】 地域の事業者向け事業について                      | 24 |
| - II  | 担当講師によるふりかえり                            | 26 |
|       | 【1】 もう一度働く短期集中講座 第1期・第3期                |    |
|       | 【2】 もう一度働く短期集中講座 第2期・第4期                |    |
| - III | M字谷間層への就労支援の重点と課題                       | 28 |
| 4     | 地域人づくり事業(雇用型)                           | 30 |
|       | ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業 事業報告        |    |
| - I   | 事業報告                                    |    |
|       | 【1】 事業概要                                |    |
|       | 【2】 雇用状況                                | 31 |
|       | 【3】 事業終了後の雇用者の状況                        | 33 |
|       | 【4】 研修実施状況                              | 33 |
|       | 【5】 パソコン研修の成果                           | 37 |
|       | 【6】 OJT について                            | 37 |
|       | 【7】 財団内での成果                             | 39 |
|       | 【8】 課題                                  | 39 |
| 5     | 政策提言                                    | 41 |
| 6     | 巻末資料                                    | 43 |
| - I   | 地域人づくり事業(非雇用型)短期集中講座プログラム               |    |
| - II  | 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団広報誌 すてっぷ ON ! vol.8 |    |

## 1. はじめに

この研究会の課題は、豊中市からの受託事業「地域人づくり事業」（2014年11月～2015年8月）をどのように実施していくか、そのプランの作成を主な課題としています。他の事業所での取り組みを学び、財団理事などのメンバーの協力によりプログラムの基本を策定することができました。

受託事業「地域人づくり事業」の使命は、結婚や出産で離職し、そのまま家庭にいる女性の再就職を支援することでした。具体的には、①雇用による職場訓練を合わせたプログラムで再就職を支援する雇用型事業②入門講座・短期集中講座・事業者を対象とした女性就労促進セミナー・合同面接会などの出口までの寄り添う非雇用型事業です。事業開始にあたり2014年度4回、事業終了後2015年度1回、計5回の研究会を4頁の通り開催しました。

事業はいわゆるM字の谷にいる女性たちを対象とするものです。プログラムの基本を①マインドアップ②スキルアップとし、①では自信を失い不安感を抱えている女性が自己肯定感を高めることを中心に②では実用的な履歴書作成、職務経歴書、自己アピールプレゼン資料作成などを組み込んだPCスキルの強化をプログラム化しました。こうしたことに加え、財団職員による「働くことは人生のセーフティネット」という講座を組み込みました。近年、会社でも労働組合でもあまり学ぶことのない働くことの社会的・個人的意味、基本的ワークルールや社会保険の知識など再就職で多い非正規ゆえの困難に対応できるよう取り組み、すてっぷの特徴とすることができました。

こうした事業から、豊中市における女性の状況が、多様でかつ複合的困難を抱えていながらも、働いていきたいという切実な実態があることもつかむことができました。さらに、非雇用型の集中支援者78人中44人が、雇用型雇用者7人中5人が就職したという数量的成果もさることながら、受講前に大きな不安を抱えていた受講生の多くが短期集中講座の受講により自信を回復し自己肯定的な積極的行動に変化してきたことは、質的成果として捉えることができました。また、就労継続のために（M字の谷に陥らないために）どのような施策が必要かも明らかになりました。このように事業を通じ女性の就労・労働への参画を支援する中で、多くの学びと出会いがあったことは職員にとっても大きな喜びとなっています。

豊中市をはじめ関係機関、関係者の皆さまのお力添えに心から感謝申し上げます。

今年度は2年度にまたがる事業報告をもって研究会報告に代えさせていただきますと共に、次年度以降は調査研究テーマについても行政と一層連携し、予算編成期を意識しタイムリーな報告や政策提言に努めてまいりたいと思います。

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団  
理事長 林 誠子

## 2. 女性就労の支援事業研究会

### 【1】趣旨及び目的

「人と地域を元気にする男女共同参画」を実現するために就労支援、就労継続支援は大きなテーマである。そのため、地域社会の課題を踏まえ、解決につなげられるよう女性の労働に関する調査研究事業を行う。

### 【2】研究会メンバー

財団理事、職員、関係機関を中心にテーマに応じて研究者、実務者を依頼した。

### 【3】実施状況

|            |                    | 実施日   | テーマ・協議内容等  |
|------------|--------------------|---|--|
| 2014<br>年度 | 第1回                | 2014年4月22日(火)   | 14年度緊急雇用創出事業におけるプログラム策定にあたって   |
|            |                    |   | 報告：「就職準備相談の実践から」<br>森田江里子(相談員)   |
|            | 第2回                | 2014年7月4日(金)  | 14年度地域人づくり事業について   |
|            |                    |   | 報告：「中小企業新戦力発掘プロジェクト」について<br>日下もえぎ<br>(パソナ中小企業新戦力発掘プロジェクト近畿事務局長)<br>協議：「基本的な構想、プログラム案の検討」<br>財団職員   |
| 第3回        | 2014年9月4日(木)       | 企業におけるワークライフバランス  |  |
|            |                    | 報告1：「中小企業における両立支援導入モデル創出事業<br>平成22～23年度報告書概要」<br>濱政宏司(豊中市子ども政策室)<br>報告2：「多様な働き方ができる職場づくり」に取り組んで<br>岡田憲明(大阪大学生生活協同組合専務理事)                        |  |
| 第4回        | 2014年10月30日<br>(火) | 報告1：「生きづらさ・働きづらさを感じている女性に贈る3つのセミナー」(全国女性会館協議会助成金事業)を組み込んだパソコン実習の実施報告と今後の課題<br>財団職員<br>報告2：「地域人づくり事業」(非雇用型)プログラムと参加概要について検討<br>報告者：財団、森田江里子(相談員) |  |
| 2015<br>年度 | 第1回                | 2015年10月6日<br>(火)   | 第1部：「地域人づくり事業」(非雇用型・雇用型)を手がかりに<br>一 再就職支援の課題を考える<br>報告1：「地域人づくり事業」(非雇用型・雇用型)の実施概要<br>財団職員<br>報告2：(非雇用型)「もう一度働く！短期集中講座」講師を担当して<br>森田江里子(第1期・第3期担当講師・相談員)<br>堀山可奈子(第2期・第4期担当講師)<br>第2部：意見交換 一 再就職支援の課題を考える |

### 3. 地域人づくり事業（非雇用型）

#### 結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業 事業報告

##### I. 事業報告

##### 【1】事業概要

##### (1)事業について

本事業は、2014年9月～2015年8月の1年間、大阪府が実施した国の地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）として豊中市くらし支援課より一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団が受託し実施したものである。詳細は（表1）結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業 事業概要 のとおりである。

対象者は、結婚や出産などで離職しブランクのある、労働力のM字谷間となっている女性である。

（表1）結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業 事業概要

| 事業名    | 結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業（非雇用型）  |
|--------|---|
| 委託元    | 豊中市（市民協働部 くらし支援課）   |
| 実施期間   | 2014/9/1～2015/8/31  |
| 実施金額   | 8,344,921円（消費税込）  |
| 定員     | 523人（A～Fの合計※Eのみ定員設定なし）  |
| 参加者実績  | のべ 469人（A～F合計）※うちA～Eのみ427人<br>実人数 284人（A～F合計）※うちA～Eのみ244人   |
| ねらい    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域経済や社会システムを実現するためには、女性の雇用拡大と活躍は喫緊の課題であり、そのためには、潜在労働力であるM字型労働の谷間となっている女性の就労や社会参画が不可欠である。</li> <li>・本事業ではこの層の女性を対象に、仕事と生活の両立、再就職、能力開発をサポートする取り組みを行い、多様な職域や職種に対応できるような地域ニーズに合った人づくりを担う。</li> <li>・女性の就労支援を行うと同時に、地域の企業に対しても女性の雇用促進を多方面から提案する。</li> </ul>   |
| 事業の目標値 | 安定雇用者数 20人  |
| 事業内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のための再就職支援セミナー（PC研修を含む）の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>A) もう一度働く入門講座（原則月1回開催、全8回）</li> <li>B) もう一度働く！短期集中講座（11日間の日程でPC講座でスキルアップ<br/>就活実践講座でマインドアップ。全4期開講）</li> <li>C) 就活カフェ（短期集中講座受講者対象の継続支援。原則月1回、全10回）</li> <li>D) 個別相談（短期集中講座受講者対象の個別支援）</li> </ul> </li> <li>・再就職を希望する女性のための合同企業面接会の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>E) 合同企業面接会（2回）</li> </ul> </li> <li>・女性を採用したい企業の発掘および企業向けセミナーの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>F) 事業者向けセミナー（2回）</li> </ul> </li> </ul> |

## (2)事業設計について

(図1)事業の概要図

|   |                     | 2014年 |     |     | 2015年 |    |     |    |     |    |    |   |   |
|---|---------------------|-------|-----|-----|-------|----|-----|----|-----|----|----|---|---|
|   |                     | 10月   | 11月 | 12月 | 1月    | 2月 | 3月  | 4月 | 5月  | 6月 | 7月 | 8月  |   |
| A | もう一度働く<br>入門講座      | □     | □   | □   | □     | □  | □   | □  | □   | □  | □  | □   | 再就職のモヤモヤ脱出<br>何度でも受講可<br>(定員25人×8回)※うち3回は2日講座 |
| B | もう一度働く！<br>短期集中講座   | 第1期   |     | 第2期 |       |    | 第3期 |    | 第4期 |    |    | 1回のみ受講<br>11日間の連続講座<br>(定員18人×4回)※第1期は20人 |   |
| C | 就活カフェ               | □     | □   | □   | □     | □  | □   | □  | □   | □  | □  | □   | 就活中の悩みを共有<br>何度でも受講可<br>(定員10人×10回)           |
| D | 個別面談<br>(短期集中講座受講者) | □     | □   | □   | □     | □  | □   | □  | □   | □  | □  | □   | 短期集中講座受講者対象<br>個別に講師に相談できる                    |
| E | 合同面接会               | □     | □   | □   | □     | □  | □   | □  | □   | □  | □  | □   | 企業が何を求めているか<br>直接聞いてみる                        |
| F | 事業者向け<br>セミナー       | □     | □   | □   | □     | □  | □   | □  | □   | □  | □  | □   | 女性も働きやすい職場を<br>企業と一緒に考える<br>(定員25人×2回)        |

本事業は下記のような構成で設計している。

### ①求職者支援事業

A「もう一度働く入門講座」(※以下「入門講座」と表記)

B「もう一度働く！短期集中講座」(※以下「短期集中講座」と表記)

C「就活カフェ」

D「個別面談」

E「合同企業面接会」

B「短期集中講座」は、パソコン講座と就活実践講座の2種類、10日～11日間連続の最も長い講座で、本事業の中核と位置づけている。このB「短期集中講座」の受講前にA「入門講座」を設けて本事業の入口とした。

また、B「短期集中講座」のフォローアップとして、C「就活カフェ」D「個別面談」を設けている。さらに、就労という出口に具体的につなげるために、E「合同企業面接会」を設けた。C「就活カフェ」でも池田公共職業安定所や大阪マザーズハローワークとの連携を行い、出口への連携を行っている。

B「短期集中講座」以外の事業は何度でも受講可能で、受講者はB「短期集中講座」の修了後も継続して本事業へ参加ができ、継続した就労支援が受けられるよう設計した。

### ②地域の事業者向け事業

E「合同企業面接会」

F「事業者向けセミナー」

地域の事業者向け事業では、地域の求人企業と求職者をつなげる場としてのE「合同企業面接会」と、F「事業者向けセミナー」を実施した。F「事業者向けセミナー」では、行政施策にもとづいて女性雇用を提案するのではなく、経営者の視点で女性が働きやすい職場づくりや女性雇用が、雇用問題の解決の糸口となることを提案するセミナーを行った。

### (3) 事業実施実績について

受講者数は延べ人数 469 人（内求職者向け事業 427 人）、実人数では 284 人（内求職者向け事業 244 人）であった。

(表 2) 事業の実施状況詳細

| No | タイトル          | 実施回数 | 時間数   | 定員  | 参加人数<br>※ | 構成比    |
|----|---------------|------|-------|-----|-----------|--------|
| A  | もう一度働く入門講座    | 8 回  | 24.5  | 275 | 220       | 51.5%  |
| B  | もう一度働く！短期集中講座 | 4 回  | 215   | 74  | 72        | 16.9%  |
| C  | 就活カフェ         | 10 回 | 20    | 100 | 72        | 16.9%  |
| D  | 個別相談          | 5 回  | 20    | 24  | 13        | 3.0%   |
| E  | 合同企業説明会・面接会   | 2 回  | 5.5   | -   | 50        | 11.7%  |
| F  | 事業者向けセミナー     | 2 回  | 3.6   | 50  | 42        | 9.8%   |
| 合計 |               | 26 回 | 288.6 | -   | 469       | 100.0% |

※連続講座の場合は全日程修了者の人数で記載

## 【2】事業実施後のデータより

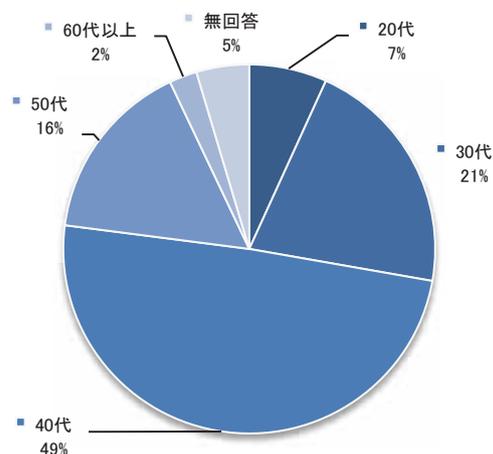
### (1) 求職者支援事業の受講者像

受講者の年代は 40 代（49.3%）が最も多く、次いで 30 代（21.0%）である。また、豊中市内在住者が 75.4%であった。受講者の受講時の就労状況では「働いていない」（73.9%）が最も多い。

すべての講座に一時保育を付けた。（有料：1 回あたり 540 円、利用対象 1 歳～就学前）一時保育の利用者は全体の 17.1%で小さな子どもを抱えていても「働きたい」と考える女性がいることがわかる。

(表 3) 受講者の年代

|       | 人数  | 構成比    |
|-------|-----|--------|
| 20代   | 28  | 6.8%   |
| 30代   | 87  | 21.0%  |
| 40代   | 204 | 49.3%  |
| 50代   | 66  | 15.9%  |
| 60代以上 | 10  | 2.4%   |
| 無回答   | 19  | 4.6%   |
| 合計    | 414 | 100.0% |



(図 2) 受講者の年代

(表 4) 受講者の居住地域

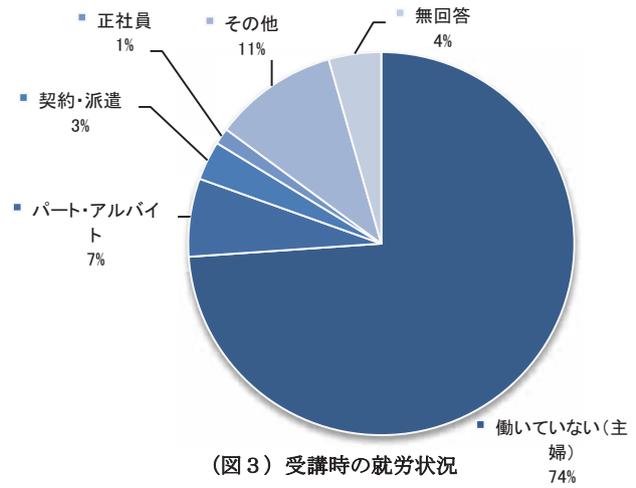
|     | 人数  | 構成比    |
|-----|-----|--------|
| 市内  | 312 | 75.4%  |
| 市外  | 87  | 21.0%  |
| 無回答 | 15  | 3.6%   |
| 合計  | 414 | 100.0% |

(表 5) 受講時の就労状況

|            | 人数  | 構成比    |
|------------|-----|--------|
| 働いていない(主婦) | 269 | 73.9%  |
| パート・アルバイト  | 24  | 6.6%   |
| 契約・派遣      | 12  | 3.3%   |
| 正社員        | 5   | 1.4%   |
| その他        | 38  | 10.4%  |
| 無回答        | 16  | 4.4%   |
| 合計         | 364 | 100.0% |

(表 6) 一時保育利用者の割合

| 受講者数 | 利用者 | 構成比   |
|------|-----|-------|
| 414  | 71  | 17.1% |



## (2)事業の成果

地域人づくり事業（雇用拡大プロセス）での仕様書による就労者数の成果目標は以下のとおりであり、数値目標に対しては、未達成となった。

(表 7) 安定雇用者※数目標と成果

| 目標値         | 達成値(達成比)           | 本事業終了後の就労者数(うち非正規雇用等) |
|-------------|--------------------|-----------------------|
| 安定雇用者数 20 人 | 安定雇用者数 12 人(65.0%) | 44 人(32 人)            |

※安定雇用者：正規の職員・派遣または契約社員で雇用期間が1年以上の者(大阪府事業報告書提出内容に基づく)

事業終了後の就労者数は44人(2015年9月末時点)で、これは求職者支援事業(前述の入門講座(A)～合同企業面接会(E))の受講者実数244人のうち18.0%であった。また、「短期集中講座」(B)受講者を中心とした就職支援者※78人のうち56.4%となった。

(表 8) 事業終了後の就労者数とその割合

|                 | 人数  | うち就労者割合 |
|-----------------|-----|---------|
| 就労者数            | 44  |         |
| 求職者支援事業参加者(実人数) | 244 | 18.0%   |
| 就職支援者数※         | 78  | 56.4%   |

※B「短期集中講座」受講者を中心とした集中支援者(大阪府事業報告書提出内容に基づく)

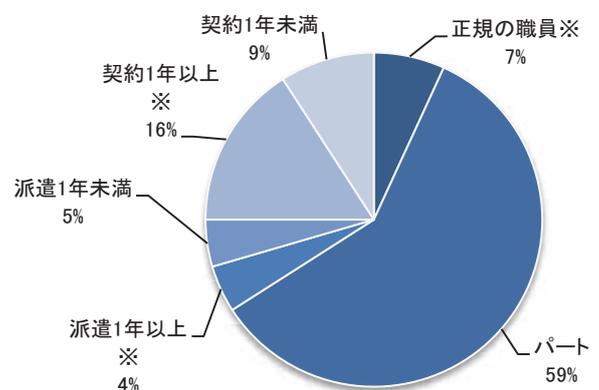
就労者数44人の雇用形態(表3：就労者の雇用形態)は、パートが全体の59.1%を占める。さらに、パート勤務者の中には「フルタイム勤務のパート」という、時間数は正規雇用と差がないにも関わらずパート採用であるなどパートといっても短時間労働者ではないケースも見られた。

一方、ブランクから再就職をしたことで、将来的に子どもの成長等により勤務時間の制約が軽減されれば働き方を変えられる可能性が大きくなる。パートから契約社員、正社員への登用を前提としたパート就労者もいたことから、パートから出発して将来的な安定就職者となる可能性は期待できる。

(表 9) 就労者の雇用形態

| 雇用形態    | 人数 | 構成比    |
|---------|----|--------|
| 正規の職員※  | 3  | 6.8%   |
| パート     | 26 | 59.1%  |
| 派遣1年以上※ | 2  | 4.5%   |
| 派遣1年未満  | 2  | 4.5%   |
| 契約1年以上※ | 7  | 15.9%  |
| 契約1年未満  | 4  | 9.1%   |
| 合計      | 44 | 100.0% |

※安定雇用者数の対象雇用形態(※大阪府事業報告書提出に基づく)



(図 4) 就労者の雇用形態

### 【3】求職者支援事業の各プログラムについて

#### (1) 「もう一度働く！入門講座」(A)

##### ①講座内容

本事業の中核となる「短期集中講座」(B)への応募を促すために入口としてこの講座を設定した。そのため「短期集中講座」(B)開講前2ヶ月の期間に月1回ペースで実施している。講師は「短期集中講座」(B)の講師が担当し、「短期集中講座」(B)で実施する就活実践講座の内容を先取りし、受講者に対してそれぞれのライフデザインから働くことを捉える問題提起を行った。また、「入門講座」(A)ではロールモデル紹介としてさまざまな職種・働き方で社会と関わる女性を紹介した。受講者の志望職種は事務職に偏っている傾向から、事業の後半期は、職種選択の幅を拡げるねらいで多様な職種、特に介護職(2月、3月)や派遣就労(5月)、接客業(6月)を紹介するよう、プログラムを組んだ。

「入門講座」(A)実施後に「短期集中講座」(B)の申込を受付けた。

(表10)もう一度働く！入門講座(A)実施状況

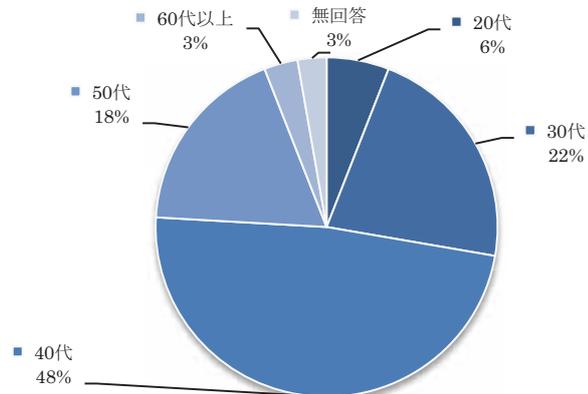
|    | 実施回      | 日程    | 時間数  | 内容・テーマ                  | 講師                              | 定員 | 参加者 |     |
|----|----------|-------|------|-------------------------|---------------------------------|----|-----|-----|
| 1  | 10月<br>度 | 10/16 | 2H   | やりたいことを自分らしく            | 上村有里(赤ちゃんからのESD)                | 25 | 38  |     |
|    |          | 10/17 | 2H   | 望みをかたちに！                | 森田江里子(すてっぷ相談員)                  |    | 35  |     |
| 2  | 11月<br>度 | 11/20 | 2H   | 「働きたい！」<br>そのおじやまムシは？   | 田中陽子(大阪市男女いきいき財団)               |    | 10  |     |
|    |          | 11/21 | 2H   | 望みをかたちに！                | 森田江里子(すてっぷ相談員)                  |    | 6   |     |
| 3  | 12月<br>度 | 12/18 | 2H   | 働きたい！あなたの再チャレンジ         | 吉田秀子<br>(NPO法人働きたいおんなたちのネットワーク) |    | 11  |     |
|    |          | 12/19 | 2H   | わたしらしく、10年後のわたし         | 堀山可奈子<br>(Hiyoshi マネジメントオフィス)   |    | 13  |     |
| 4  | 2月<br>度  | 2/19  | 2.5H | 望みをかたちに！                | 森田江里子(すてっぷ相談員)                  |    | 18  |     |
|    |          |       |      | 介護のシゴト、絶対イヤでした          | 大久保理香(介護職員)                     |    |     |     |
| 5  | 3月<br>度  | 3/19  | 2.5H | 望みをかたちに！                | 森田江里子(すてっぷ相談員)                  |    | 17  |     |
|    |          |       |      | 介護職から<br>介護事業所内勤業務へ     | 馬籠友美(ニチイ学館茨木支店)                 |    |     |     |
| 6  | 4月<br>度  | 4/9   | 2.5H | 望みをかたちに！                | 森田江里子(すてっぷ相談員)                  |    | 33  |     |
|    |          |       |      | 道は続くもの<br>～最初の一步はだれもが大変 | 西野智子(財団経理職)                     |    |     |     |
| 7  | 5月<br>度  | 5/28  | 2.5H | わたしらしく、10年後のわたし         | 堀山可奈子<br>(Hiyoshi マネジメントオフィス)   |    | 19  |     |
|    |          |       |      | 好奇心を持てば、<br>仕事はあるある！    | 澤田真希(PC講師他)                     |    |     |     |
| 8  | 6月<br>度  | 6/11  | 2.5H | わたしらしく、10年後のわたし         | 堀山可奈子<br>(Hiyoshi マネジメントオフィス)   |    | 20  |     |
|    |          |       |      | ブランクからの一步で<br>ハッピーに     | 山中友瑛(ポーラエトレ豊中店)                 |    |     |     |
| 合計 |          |       |      |                         |                                 |    | 275 | 220 |

## ②受講者プロフィール

受講者年代は事業の全体像（7頁）と大きく変化しない。40代が最も多く、次に30代50代と続く。

（表 11）受講者年代

|       | 人数  | 構成比    |
|-------|-----|--------|
| 20代   | 13  | 5.9%   |
| 30代   | 48  | 21.8%  |
| 40代   | 106 | 48.2%  |
| 50代   | 40  | 18.2%  |
| 60代以上 | 7   | 3.2%   |
| 無回答   | 6   | 2.7%   |
| 合計    | 220 | 100.0% |



（図 5）受講者の年代

（表 12）一時保育利用者の割合

| 受講者数 | 利用者 | 構成比   |
|------|-----|-------|
| 220  | 33  | 15.0% |

## ③アンケートから読み取れた就労阻害要因

「もう一度働く！入門講座」(A) は、本事業の求職者支援事業受講者（427人）のうち220人と、51.5%を占める。この講座で、「就労にあたっての不安や困っていること」をアンケートで尋ねたところ、以下の4つの要素が挙げられた。（表 2：アンケート記述欄より抜粋）

### 1) ブランク

結婚、出産で離職し、就労からのブランクが長いので就職できないと考えている。

（ブランクは2.3年～20年以上と幅広い）

### 2) 年齢

年齢が高いため、再就職ができないと考えていることがうかがえる。

### 3) 子育ての両立不安、託児情報の不足

子育て中は残業や子どもの病気等への対応ができないため、再就職できないと考えている。

### 4) パソコンスキルへの不安

希望する求人(事務職)には「Excel・Word を使える」ことが条件となっていることが多いと考えている。また、Excel・Wordを使用した経験があっても、自信が持てず応募できないと感じている。

※再就職にExcel・Wordが必要だと感じている一方、無料または安価なパソコン講座を希望している。

(表 13) アンケート記述欄より抜粋(もう一度働く入門講座A)

(就労にあたっての不安や困っていること)

①ブランク

- ・事務職でのブランク。パソコンのスキルがあまりないこと。
- ・スキルと経験がないので転職できるか不安です。
- ・かなりのブランクがあることが不安。

②年齢

- ・年齢をへてきているので焦り感はある。
- ・年齢や経歴で採用されないのではないかという不安があります。

③子育て両立不安、託児情報の不足

- ・働いている時間、子どもはどうしたら良いか。不測の事態も含めて。
- ・仕事の話はいただくのですが、残業の多い仕事ばかりで対応できない。
- ・学校が長期休みの間(夏、冬、春休み)の子どもの預け先。
- ・保育園の空があるか。空があっても仕事先があるかです。

④パソコンスキルへの不安

- ・PC を使えるようになれる講座。
- ・もっともっとパソコンの講座を増やして欲しい。
- ・今後の事を考えるとエクセルは必須だと思い不安に感じています。
- ・エクセルが出来るようになると安心感がある。

⑤価格

- ・無料パソコンがもう少し気軽に参加できるものをつくって頂きたいです。
- ・有料でも良いので(なるべく安価)、ワード・エクセル・パワーポイント。

(2) 「もう一度働く！短期集中講座」(B) ※以下「短期集中講座」と表記

①講座内容

「短期集中講座」(B) は、本事業の中核として位置づけている。

1日5時間×10～11日間の連続講座で、スキルアップとしてパソコン講座を、マインドアップとして就活実践講座をそれぞれ25時間程度実施した。事業期間中に第1～4期の計4回を実施し、各回の定員はパソコンの使用台数から18人とした。(第1期のみ20人)

(表14)「もう一度働く！短期集中講座」(B)実施状況(参加者は全日程を修了した人数で表記)

| 実施回 | 日程                | 時間数     | タイトル              | 講師                           | 定員 | 参加者 |
|-----|-------------------|---------|-------------------|------------------------------|----|-----|
| 第1期 | 10月30日<br>～11月18日 | 5H×11日間 | 就活 & 初級Excel Word | 森田江里子(すてっぷ相談員)<br>株式会社ヴェルジェム | 20 | 18  |
| 第2期 | 1月20日<br>～2月5日    | 5H×10日間 | 就活実践 & Excel検定対策  | 堀山可奈子<br>(Hiyoshiマネジメントオフィス) | 18 | 18  |
| 第3期 | 4月24日<br>～5月15日   | 5H×11日間 | 就活 & 初級Excel Word | 森田江里子(すてっぷ相談員)<br>株式会社ヴェルジェム | 18 | 18  |
| 第4期 | 6月22日<br>～7月9日    | 5H×11日間 | 就活 & Excel検定対策    | 堀山可奈子<br>(Hiyoshiマネジメントオフィス) | 18 | 18  |

②応募状況

前述の「もう一度働く！入門講座」(A) 受講者を対象として受講受付を行ったが、応募者が非常に多く(表2: 応募状況より 応募率平均 202.7%)、そのほとんどは「無料のパソコン講座」を動機としていた。受講者の決定については、①「入門講座」(A)を受講している②全日程参加できる③再就職を希望している④就労支援講座の案内メール受取を許諾している等を考慮した。

(表15)応募状況

| 実施回 | 定員 | 応募者数 | 受講者数※ | 応募率    |
|-----|----|------|-------|--------|
| 第1期 | 20 | 44   | 18    | 220.0% |
| 第2期 | 18 | 25   | 18    | 138.9% |
| 第3期 | 18 | 41   | 18    | 227.8% |
| 第4期 | 18 | 40   | 18    | 222.2% |
| 合計  | 74 | 150  | 72    | 202.7% |

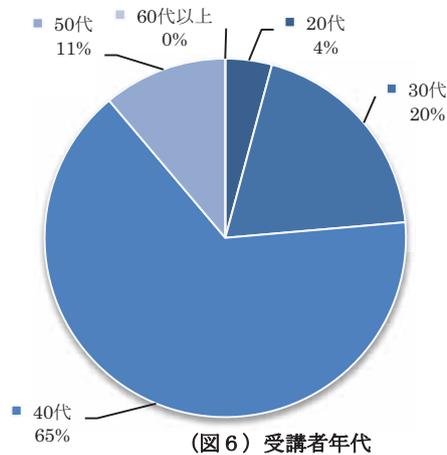
※受講者数は講座の修了者数

### ③受講者プロフィール

前述の受講者決定を経た結果、参加者に占める40代の割合は「入門講座」(A)48.2%から65.3%に増加している。一時保育利用者の割合に大きな差はみられない。連続講座であっても、子育て中の方の就労への意欲がうかがえる。

(表 16) 受講者年代

|       | 人数 | 構成比    |
|-------|----|--------|
| 20代   | 3  | 4.2%   |
| 30代   | 14 | 19.4%  |
| 40代   | 47 | 65.3%  |
| 50代   | 8  | 11.1%  |
| 60代以上 | 0  | 0.0%   |
| 無回答   | 0  | 0.0%   |
| 合計    | 72 | 100.0% |



(表 17) 一時保育利用者の割合

| 受講者数 | 利用者 | 構成比   |
|------|-----|-------|
| 72   | 12  | 16.7% |

### ④多様なM字谷間層

本事業の対象者は、結婚や出産などで離職をしブランクのある、労働力のM字谷間となっている層であるが、B「短期集中講座」の応募申込書の記述欄からは、就労を困難にする多様な事情がうかがえた。応募者は財団が当初想定していた「夫の収入が安定している専業主婦像」とは異なり、経済状況、家族状況、心身の状況などさまざまな就労困難を抱えている。例えば就労を希望していてもパソコンスキルの不足により働けていない方や、専業主婦であっても離婚や別居等により経済的独立が必要となっているケースなどである。また、非正規雇用を続けているシングル女性や、心身の不調を抱えている方も複数みられ、中には中卒や高校中退など教育年限による困難を訴えている方もいた。

(表 18)応募申込書記述欄より抜粋

|   |
|---|
| <p>(パソコン)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高校中退で就職経験がなく体調不良期間も長くアルバイトを転々とし主婦に。技術をつけて働きたい。</li><li>・希望の事務系の仕事には Excel・Word が条件。結婚前に働いていた頃はパソコンを使っていない。</li><li>・興味のある仕事は「Excel・Word ができる事」を条件とされていた為、応募すら出来ません。</li><li>・エクセルの業務経験が無い為、長期の仕事に応募できず、短期を繰り返している。</li></ul> <p>(離婚など)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・育休がもらえず仕事を辞めてしまった。夫との関係を考え直している。自分が働かないといけない。</li><li>・夫と別居中。子供たちの為にも、土日は休めるオフィスワークに就きたい。</li><li>・離婚により、自分で生計をたてる必要に迫られたが、専業主婦だった為、少しでも就活の準備をしたい。</li></ul> <p>(将来不安・シングル・体調)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・派遣で 13 年近く働いているが、派遣先の都合でどうなるかわからない不安。</li><li>・年金の受給が 65 才になり、65 才まで働ける企業に就職できるか不安で仕方がない。</li><li>・親の介護で離職して以来でブランクが長く、40 半ばという年齢が不安。</li><li>・自身の入退院後に一人暮らしを始めたものの相談できる人もおらず、就活にも自信が持てない。</li><li>・独身で勤務先都合で失業。就活を頑張っていたがうまくいかずひきこもりの生活。</li><li>・ヘルパー職に必要なだった体力が 50 肩で不便になったので、パソコン利用の仕事に就きたい。</li></ul> |
|---|

#### ④実施プログラム

##### 1) 講座設計について

講座設計は、パソコン講座プログラムと就活実践講座の 2 本立てで設計した。これは、単なるパソコンスキルの習得だけでは再就職へ結びつきにくいと考えたためである。

##### 2) パソコン講座プログラムについて

- ・「Excel Word 初級」(第 1 期・第 3 期) と、「Excel 検定対策」(第 2 期・第 4 期) の 2 種類を実施。
- ・「キーボード入力ができる」ことを受講条件とした。

講師は、これまでもすてっぷで女性の就労支援に関わったことがあり、パソコン指導の教材にビジネス文書等を取り入れ、再就職支援の視点を活かした。

##### 3) 就活実践講座について

就活実践講座については以下のプログラムを柱に設計している。

- ①女性のライフプランの視点から「働く」ことを捉え直す
- ②これまでの自分を振り返り、経験の棚卸しを行なう
- ③「働くことの基礎知識」として社会保険や税、雇用保険についての情報提供を行なう
- ④再就職活動に必要な応募書類の作成を講座内で行なう
- ⑤ハローワークでの登録、就職活動のためにハローワーク相談員による出口との連携  
(第 3 期・第 4 期)

##### 4) グループワークの実施

就活実践講座ではほぼ全ての講座にグループワークを取り入れ、受講者が発言する機会を多く設けた。

これにより受講者は家族以外とのコミュニケーションや自己表現を学んだ。特に、前述 3) 就活実践講座の①②をグループワークで行なうことで、自分の働きたい気持ちを整理し共有し、グループ内で繰り返しフィードバックを受けている。これにより、自分の考えをまとめ、自分の言葉で働きたい気持ちを言語化し、表現することにつながった。

#### 5) 安心・安全と仲間づくり

「短期集中講座」(B) では、守秘義務等をあらかじめ開講時に確認し、安心して話せる場づくりを行った。「話したことは持ち出さない」「話したくないことは話さないでよい」等の安心・安全を呼びかけたことで自己開示に伴う不安を軽くした。また、グループワークを繰り返すことは、受講者同士の仲間づくりにつながり、講座修了後も自主的に期単位での同窓会などが開かれている。

#### 6) 出口への連携

前述 3) の⑤ハローワーク相談員によるハローワーク活用講座と、「就活カフェ」(C) (20 頁) により、それまでハローワークを利用したことがない受講者を具体的な出口につなぐことをねらった。これは受講者のハローワーク訪問につながり、応募から内定につながった受講者も見られた。

#### 7) 講座内容の改善

講座内容は開催を重ねるごとに必要な要素を見直し、改訂を行った。講座期間中には毎日「コミュニケーションカード」として受講者から感想を記入してもらい、講師に都度フィードバックを行った。また、期の終了毎に講師をまじえた振り返りや、受講者それぞれの支援課題を共有した。

#### 8) 継続した支援

「短期集中講座」(B) の終了後は、「就活カフェ」(C) (20 頁) 「個別面談」(22 頁) (D) 「合同企業面接会」(E) (23 頁) の継続した就労支援講座に参加できる設計としたことで、事業期間中に途絶えることのない支援を受けられるようにした。また、財団からは「短期集中講座」(B) の終了後も定期的なメール配信で、受講者の就職活動の様子や、講座案内を提供している。本事業終了後も、メール配信は続け、財団の実施する再就労支援事業や近隣の求人情報を提供し、受講者への支援を行っている。

※参考 巻末資料 地域人づくり事業（非雇用型）短期集中講座 プログラム

### ⑤講座への評価

#### 1) パソコン講座への高い満足度

第1期～第4期までの講座終了時アンケートでは、パソコン講座への満足度はほぼ100%、わかりやすさは全ての期で100%であった。講師はこれまで当財団でのパソコン講座を担当しており、女性の就労支援という視点に習熟していたことも理由として考えられる。

(表19)パソコン講座のアンケート結果(抜粋)

|        | 第1期<br>初級 Excel<br>Word | 人数<br>18 | 第2期<br>Excel<br>検定対策 | 人数<br>18 | 第3期<br>初級 Excel<br>Word | 人数<br>18 | 第4期<br>Excel<br>検定対策 | 人数<br>18 |
|--------|-------------------------|----------|----------------------|----------|-------------------------|----------|----------------------|----------|
| 担当講師   | 株式会社<br>ヴェルジェム          |          | 堀山可奈子                |          | 株式会社<br>ヴェルジェム          |          | 堀山可奈子                |          |
| 満足度    | 100%                    |          | 100%                 |          | 94.4%                   |          | 100%                 |          |
| わかりやすさ | 100%                    |          | 100%                 |          | 100%                    |          | 100%                 |          |

#### 2) 検定受験結果

第2期・第4期では受講者全員が、日本情報処理検定協会「表計算(Excel)」を受験した。結果は下表のように第2期・第4期受講者36人中33人が合格した。受験級は受講開始後に本人の習熟度から講師の助言により決定し、複数の級を受験することも可能であった。

(受検料は個人負担)

(表20)検定受験結果

| 受験級  | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 合格合計 | 不合格者 |
|------|----|----|----|----|------|------|
| 合格者数 | 9  | 24 | 11 | 0  | 44   | 3    |

#### 3) 就活実践講座の内容について

就活実践講座のうち、「特によかった講座」はライフプランや自己分析、仲間づくりなどに支持が高い。PCを使った応募書類の作成や、面接対策、社会保険や労働法なども好評であった。

(表 21) 就活実践講座のアンケート結果(抜粋)

|             | 回答数10以上を網掛け  |          |              |          |             |          |                  |          |
|-------------|--------------|----------|--------------|----------|-------------|----------|------------------|----------|
|             | 第1期          | 人数<br>18 | 第3期          | 人数<br>18 | 第2期         | 人数<br>18 | 第4期              | 人数<br>18 |
| 担当講師        | 森田江里子        |          |              |          | 堀山可奈子       |          |                  |          |
| 自己分析        | 自己開示や自己分析    | 9        | 自己分析・ふりかえり   | 10       | 自己分析        | 13       |                  |          |
| 仲間づくり       | 仲間づくり        | 10       | 仲間づくり        | 13       |             |          |                  |          |
| 経験の整理       |              |          | 経験の棚卸し       | 4        |             |          |                  |          |
|             |              |          | 出来ること、強みを探す  | 2        |             |          |                  |          |
|             | 自分の弱みを強みにする  | 5        | ポジティブシンキング   | 6        |             |          |                  |          |
| 阻害要因        |              |          |              |          | 働く上での問題点・解決 | 4        | 再就職の壁・解決法        | 9        |
| 体験談         |              |          |              |          |             |          | 第2期修了生体験談        | 7        |
| コミュニケーション   |              |          |              |          |             |          | コミュニケーション術       | 11       |
| ライフプラン      |              |          | ライフイベント表作成   | 6        |             |          |                  |          |
|             | ライフプラン表作成    | 14       | 長期計画を立てる     | 5        | キャリアプラン     | 8        | ライフプランを考える       | 10       |
|             | 行動計画・決意表明    | 6        | 行動計画の作成・発表   | 4        |             |          | ライフプラン発表         | 10       |
| 応募書類        | 職歴書・履歴書作成    | 16       | 応募書類の作成      | 7        | 職歴書・履歴書作成   | 15       | 職務経歴書作成          | 11       |
|             |              |          |              |          |             |          | 職務経歴書作成2回目       | 6        |
| 求人状況        |              |          | 雇用市場について     | 7        |             |          |                  |          |
|             |              |          | 仕事の探し方       | 5        |             |          |                  |          |
| 面接対策        |              |          |              |          | 面接対策        | 12       | 面接のポイント          | 16       |
|             |              |          |              |          | ビジネスマナー・敬語  | 10       | 印象アップビジネス敬語      | 13       |
|             |              |          |              |          | 第一印象アップ     | 8        |                  |          |
| ハローワーク      |              |          | ハローワークの講座    | 8        |             |          | ハローワーク入門編        | 5        |
|             |              |          |              |          |             |          | ハローワーク実践編        | 3        |
| 社会保険<br>労働法 | 社会保険や労働法     | 15       | 労働契約・社会保険の講座 | 8        | 社会保険や労働法    | 4        | 働くことは人生のセーフティネット | 8        |
| センター活用<br>他 | ネットやライブラリー検索 | 5        |              |          |             |          | すてっぷライブラリー活用     | 2        |
|             |              |          |              |          |             |          | すてっぷ活用法          | 4        |
|             |              |          |              |          |             |          | 修了式・今後の案内        | 3        |
| 他           | 他            | 0        | 他            | 1        | 他           | 5        |                  |          |

※複数回答可

※質問項目は統一されていない

⑥受講後の変化

第3・4期については、受講開始時と、終了後の変化を捉えるため、それぞれにアンケートを実施した。

(表 22)開講前・終了後のアンケート回答比較(抜粋)

|   | 質問      | 回答             | 3期  |     | 4期  |     | 合計  |     | 増減  |
|---|---------|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|   |         |                | 受講前 | 受講後 | 受講前 | 受講後 | 受講前 | 受講後 |     |
| 1 | 就労意欲    | 3ヶ月以内には働きたい    | 5   | 7   | 2   | 8   | 7   | 15  | 8   |
|   |         | 半年以内には働きたい     | 3   | 5   | 8   | 6   | 11  | 11  | 0   |
|   |         | ゆっくり探したい       | 2   | 3   | 0   | 2   | 2   | 5   | 3   |
|   |         | 合った仕事があれば働く    | 10  | 5   | 8   | 5   | 18  | 10  | ▲8  |
|   |         | 働くつもりはない       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
|   |         | その他            | 0   | 1   | 3   | 1   | 3   | 2   | ▲1  |
| 2 | 希望職種    | 事務の仕事          | 9   | 10  | 13  | 11  | 22  | 21  | ▲1  |
|   |         | 営業や企画          | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 1   | 0   |
|   |         | サービス(飲食・販売など)  | 1   | 1   | 0   | 1   | 1   | 2   | 1   |
|   |         | 介護や福祉の仕事       | 0   | 3   | 1   | 3   | 1   | 6   | 5   |
|   |         | 興味があればなんでも     | 8   | 6   | 10  | 9   | 18  | 15  | ▲3  |
|   |         | 条件があえばなんでも     | 5   | 10  | 8   | 7   | 13  | 17  | 4   |
|   |         | わからない・考えられない   | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   |
|   |         | その他            | 4   | 5   | 1   | 1   | 5   | 6   | 1   |
| 3 | 希望の働き方  | フルタイム          | 3   | 4   | 7   | 7   | 10  | 11  | 1   |
|   |         | 週30時間          | 0   | 0   | 5   | 5   | 5   | 5   | 0   |
|   |         | 週20時間          | 7   | 7   | 2   | 2   | 9   | 9   | 0   |
|   |         | 週10時間以上        | 3   | 6   | 2   | 2   | 5   | 8   | 3   |
|   |         | 週10時間未満        | 2   | 1   | 0   | 0   | 2   | 1   | ▲1  |
|   |         | わからない          | 3   | 0   | 1   | 0   | 4   | 0   | ▲4  |
|   |         | その他            | 1   | 2   | 3   | 1   | 4   | 3   | ▲1  |
| 4 | 就活予定    | すでに始めている       | 4   | 4   | 2   | 2   | 6   | 6   | 0   |
|   |         | 講座修了後すぐに始める    | 7   | 7   | 8   | 8   | 15  | 15  | 0   |
|   |         | じっくり準備にかかる     | 5   | 7   | 4   | 5   | 9   | 12  | 3   |
|   |         | その他            | 2   | 2   | 5   | 3   | 7   | 5   | ▲2  |
| 5 | 困っていること | 家族の理解がない       | 2   | 3   | 2   | 1   | 4   | 4   | 0   |
|   |         | 家庭との両立ができない    | 3   | 8   | 7   | 8   | 10  | 16  | 6   |
|   |         | うち育児           | 0   | 6   | 4   | 4   | 4   | 10  | 6   |
|   |         | 介護             | 2   | 2   | 1   | 1   | 3   | 3   | 0   |
|   |         | 他              | 1   | 1   | 2   | 3   | 3   | 4   | 1   |
|   |         | 子どもの預け先がない     | 4   | 2   | 5   | 7   | 9   | 9   | 0   |
|   |         | 希望している仕事がない    | 9   | 6   | 8   | 6   | 17  | 12  | ▲5  |
|   |         | うち職種           | 3   | 1   | 6   | 3   | 9   | 4   | ▲5  |
|   |         | やりがい           | 2   | 1   | 4   | 2   | 6   | 3   | ▲3  |
|   |         | 条件             | 6   | 3   | 5   | 5   | 11  | 8   | ▲3  |
| 他 | 0       | 0              | 1   | 0   | 1   | 0   | ▲1  |     |     |
| 6 | 不安なこと   | 自分にできる仕事かわからない | 6   | 6   | 8   | 7   | 14  | 13  | ▲1  |
|   |         | 自分に合う仕事かわからない  | 3   | 5   | 9   | 7   | 12  | 12  | 0   |
|   |         | パソコンができない      | 10  | 5   | 7   | 2   | 17  | 7   | ▲10 |
|   |         | 仕事が見つかるか不安     | 9   | 9   | 6   | 8   | 15  | 17  | 2   |
|   |         | 仕事ができるか不安      | 11  | 11  | 9   | 9   | 20  | 20  | 0   |
|   |         | 特になし           | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
|   |         | その他            | 1   | 2   | 3   | 3   | 4   | 5   | 1   |

※対象者 36 人／回答者数 15 以上に網掛け／増減 4 以上に網掛け

- 1.就労意欲 : 「3ヶ月以内に働きたい」が増加、「合った仕事があれば」は減少。
- 2.希望職種 : 「介護や福祉の仕事」「条件があえばなんでも」が増加。  
「興味があればなんでも」は減少。
- 3.希望の働き方 : 「わからない」が減少。  
「週20時間以上働きたい」人の合計は36人中25人と、就業意欲は高い。
- 4.就活予定 : 「すでに始めている」「講座終了後すぐに始める」があわせて21人。
- 5.困っていること : 「家庭との両立」「うち育児」が増加  
「希望している仕事がない」「うち職種」は減少
- 6.不安なこと : 「パソコンができない」は大きく減少。その他要素については変動していない。

### (3) 「就活カフェ」(C)

#### ①講座内容

「就活カフェ」(C) は当初、「短期集中講座」(B) 受講者のフォローアップを目的として設定した。「短期集中講座」(B) よりも具体的な就職活動の情報提供を中心に、大阪マザーズハローワーク・池田公共職業安定所と連携し、ハローワーク相談員に講師を依頼した。再就職活動をしている方同士の情報交換を行なう場としてカフェ形式の交流タイムを設けた。

(表 23)実施状況

|    | 実施回  | 日程    | 時間数 | 内容・テーマ              | 講師                 | 定員  | 参加人数 |
|----|------|-------|-----|---------------------|--------------------|-----|------|
| 1  | 11月度 | 11/28 | 2H  | 応募書類の作り方            | 森田江里子              | 10  | 6    |
| 2  | 12月度 | 12/19 | 2H  | 知って得するお仕事探し         | 森田江里子・後藤千嘉子(大阪MHW) |     | 11   |
| 3  | 1月度  | 1/16  | 2H  | これだけは知っておきたい面接のポイント | 森田江里子              |     | 7    |
| 4  | 2月度  | 2/20  | 2H  | あなたの知らないお仕事百科       | 森田江里子・後藤千嘉子(大阪MHW) |     | 10   |
| 5  | 3月度  | 3/27  | 2H  | 読ませる応募書類のポイント       | 森田江里子・衣笠昌子(HW千里)   |     | 7    |
| 6  | 4月度  | 4/17  | 2H  | 「求人票はココをチェック！」      | 森田江里子・衣笠昌子(HW千里)   |     | 3    |
| 7  | 5月度  | 5/22  | 2H  | いざ面接！の困った対策         | 森田江里子・衣笠昌子(HW千里)   |     | 6    |
| 8  | 6月度  | 6/19  | 2H  | 会いたいと思わせる応募書類       | 森田江里子・那須佳代(HW池田)   |     | 3    |
| 9  | 7月度  | 7/10  | 2H  | 女性のおシゴトの今～最新の求人状況～  | 森田江里子・衣笠昌子(HW千里)   |     | 14   |
| 10 | 8月度  | 8/21  | 2H  | それ、あるある！働きたい女性の悩み   | 森田江里子・衣笠昌子(HW千里)   |     | 5    |
| 合計 |      |       |     |                     |                    | 100 | 72   |

#### ②受講者プロフィール

参加者に占める40代の割合は他の講座と大きく変わらない。一時保育利用者の割合は若干高くなっている。

(表 24)受講者年代

|     | 人数 | 構成比   |       | 人数 | 構成比    |
|-----|----|-------|-------|----|--------|
| 20代 | 3  | 4.2%  | 50代   | 16 | 22.2%  |
| 30代 | 14 | 19.4% | 60代以上 | 2  | 2.8%   |
| 40代 | 32 | 44.4% | 無回答   | 5  | 6.9%   |
|     |    |       | 合計    | 72 | 100.0% |

(表 25)一時保育利用者の割合

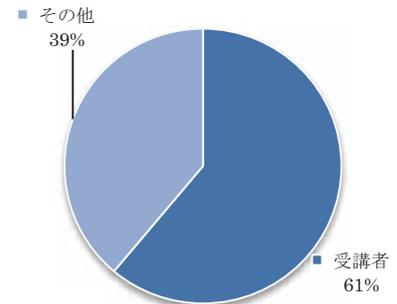
| 受講者数 | 利用者 | 構成比   |
|------|-----|-------|
| 220  | 18  | 25.0% |

#### ③新規受講者の増加

事業開始当初は、「短期集中講座」(B) 修了者のフォローアップとして実施したが、事業が進むにつれ、修了者以外の新規受講者の受講も目立ち始めた。これは定期的な開催による認知が進んだことや、現実的なテーマ設定によって再就職活動を考えている層のニーズを拾ったものだと考えている。

(表 26) その他受講者の割合

|       | 受講者数 | うち短期集中講座受講者 |        | うち新規受講者 |        |
|-------|------|-------------|--------|---------|--------|
|       |      | 人数          | 構成比    | 人数      | 構成比    |
| 11 月度 | 6    | 6           | 100.0% | 0       | 0.0%   |
| 12 月度 | 11   | 9           | 81.8%  | 2       | 18.2%  |
| 1 月度  | 7    | 5           | 71.4%  | 2       | 28.6%  |
| 2 月度  | 10   | 6           | 60.0%  | 4       | 40.0%  |
| 3 月度  | 7    | 3           | 42.9%  | 4       | 57.1%  |
| 4 月度  | 3    | 2           | 66.7%  | 1       | 33.3%  |
| 5 月度  | 6    | 2           | 33.3%  | 4       | 66.7%  |
| 6 月度  | 3    | 0           | 0.0%   | 3       | 100.0% |
| 7 月度  | 14   | 10          | 71.4%  | 4       | 28.6%  |
| 8 月度  | 5    | 1           | 20.0%  | 4       | 80.0%  |
| 合計    | 72   | 44          | 61.1%  | 28      | 38.9%  |



(図7) 受講者の属性

#### ④講座への評価

財団は求人情報を有する無料職業紹介機能などを持たない。このため、就労という出口に向けて「就活カフェ」(C)では出口である大阪マザーズハローワーク・池田公共職業安定所と連携した。このことにより、受講者アンケートからは、①現実的な求人状況への理解②希望職種のひろがり③ハローワークへの意欲が見られた。

(表 27) アンケート記述欄より

|  |
|--|
| <p>①現実の求人状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職が少ない、介護業が多いという現状に対して自分が進むべき道に戸惑いを感じた。</li> <li>・待機児童なので託児付きでと考えてたが…介護も視野に入れるべきか悩んでいます。</li> <li>・事務職を希望していますが、募集が少ないこと。子どもの預け先。</li> <li>・事務職は経験が必要で、入社してからのがんばりを問われる。</li> </ul> <p>②希望職種のひろがり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人票の見方や様々な職種を知ることができよかったです。</li> <li>・介護職を今後検討していきたいと思いました。</li> <li>・今後、長く続けていける介護職も悪い所に目を向けずに、上手く施設を選ぶと良いとわかった。</li> </ul> <p>③ハローワークへの意欲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の就活に活かせる内容でした。ハローワークにも行きたいです。</li> <li>・ハローワークの登録をしてなかったのでも登録して行ってみようと思う。</li> <li>・ハローワークの衣笠先生にぜひ仕事を紹介していただけたらと思いました。</li> </ul> |
|--|

#### (4) 個別面談(D)

「短期集中講座」(B) 修了者を対象として、個別面談を実施した。当初は受講後に個別の面談枠を設けていたが、事業の後半はすてっぷ相談室の「就職準備相談」を増枠し、定期的に利用できる体制とした。「短期集中講座」(B) 修了者にはすてっぷ相談室の利用案内を繰り返しPRし、修了者のうち52.8%が何らかの相談を利用している。

(表 28)B「短期集中講座」受講者の相談の利用状況(実人数で表記)

|                      | 総数 | 修了者に<br>占める割合 | うち就労者数 | 構成比   | うち<br>求職活動中<br>活動保留中 | 構成比   |
|----------------------|----|---------------|--------|-------|----------------------|-------|
| 個別面談利用者数             | 13 | 18.1%         | 9      | 69.2% | 4                    | 30.8% |
| すてっぷ相談室<br>就労系相談利用者数 | 25 | 34.7%         | 13     | 52.0% | 12                   | 48.0% |
| 合計                   | 38 | 52.8%         | 22     | 57.9% | 16                   | 42.1% |

(表 29)B「短期集中講座」受講者のすてっぷ相談室就労系相談の利用状況

| すてっぷ相談室 就労系相談の種類 | 受講者の利用数(実数) |       |
|------------------|-------------|-------|
|                  | 事業期間内利用者数   | うち就労者 |
| 就職準備相談           | 17          | 10    |
| 就職活動相談           | 1           | 0     |
| 働く女性のちょこっと相談     | 5           | 3     |
| 労働相談             | 1           | 0     |
| 法律相談             | 1           | 0     |
| 合計               | 25          | 13    |
| 受講者全体のうちの構成比     | 34.7%       |       |

「短期集中講座」(B) 修了者 72 人を含む集中支援者数 78 人のうち、就労者は 44 人(56.4%)であり、(表 1) の相談利用者の就労者数割合(57.9%)と大きな差はない。しかしながら、就労者の中には個別相談やすてっぷの就労系相談を繰り返し利用することで、就労に結びついた方もおられた。

また、就労者は「就労先での労働契約」「仕事内容」「残業要請」など就労決定後も様々な困難にぶつかるが、そのような場合にもすてっぷ相談室の「働く女性のためのちょこっと相談」「就職準備相談」などの利用が見られた。(表 2) すてっぷの相談事業とは再就職支援だけではなく、就労継続の面からも連携できた。

## (5) 合同企業面接会(E)

### ①実施内容

具体的な就職活動の出口につなげるために、合同企業面接会を実施した。出口機能を持つ、無料職業紹介所・豊中及び池田公共職業安定所と連携し、豊中商工会議所の後援を受けた。

(表 30)実施状況

|   | 実施回 | 日程   | タイトル             | 連携先                                  | 参加企業 | 参加人数 | うちA~C参加者 |
|---|-----|------|------------------|--------------------------------------|------|------|----------|
| 1 | 1回目 | 2/27 | 女性と若者のための合同企業説明会 | 共催:無料職業紹介所・豊中<br>後援:豊中商工会議所          | 16   | 28   | 11       |
| 2 | 2回目 | 7/17 | もう一度働く! 合同企業面接会  | 共催:池田公共職業安定所<br>委託:豊中市<br>後援:豊中商工会議所 | 15   | 22   | 10       |

「短期集中講座」(B)の第1、2期終了後に、合同面接会(E)1回目を実施、第3、4期終了後に2回目を実施した。財団は無料職業紹介などの出口支援機能を持たないため、具体的な就職活動につながる場として、「短期集中講座」(B)修了生及び、「入門講座」(A)などの受講者でメール登録している方を対象に告知。その他、駅貼りポスター、新聞折込広告などで広報を行った。

### ②実施状況

本事業の求職者は無料のパソコン講座を軸とした「短期集中講座」(B)を中核としていることから、事務職を志望する方が多い。しかし、出展企業の求人は「介護・営業・清掃」が多く、募集人員数では介護41.3%、事務系4.8%と大きく差がある。(表31:参加企業求人状況)

また、募集求人のうち正社員が48.4%、契約・非常勤21.4%と、合計69.8%がフルタイム勤務の求人であった。一方で、このような合同企業面接会の出展は企業側も約1ヶ月前から準備を行なう必要があり、急募や通常の求人活動で充足する事務職、パート職は、合同企業面接会には出展されない。

参加企業数に対しての参加者も十分確保できたとは言えず、ミスマッチが生じた。

(表 31)参加企業求人状況

| 連携先  |         | 第1回        |      | 第2回       |      | 合計   |       |      |       |
|------|---------|------------|------|-----------|------|------|-------|------|-------|
|      |         | 無料職業紹介所・豊中 |      | 池田公共職業安定所 |      | 職種数  | 構成比   | 募集人数 | 構成比   |
| 求人数  |         | 職種数        | 募集人数 | 職種数       | 募集人数 | 職種数  | 構成比   | 募集人数 | 構成比   |
| 雇用   | 正社員     | 32         | 78   | 22        | 44   | 54   | 58.1% | 122  | 48.4% |
|      | 契約・非常勤  | 8          | 49   | 2         | 5    | 10   | 10.8% | 54   | 21.4% |
|      | パート     | 10         | 32   | 21        | 44   | 31   | 33.3% | 76   | 30.2% |
| 職種※1 | 介護      | 17         | 64   | 19        | 40   | 36   | 38.7% | 104  | 41.3% |
|      | 営業      | 5          | 15   | 1         | 10   | 6    | 6.5%  | 25   | 9.9%  |
|      | 清掃      | 4          | 22   | 0         | 0    | 4    | 4.3%  | 22   | 8.7%  |
|      | 専門職※2   | 2          | 5    | 9         | 12   | 11   | 11.8% | 17   | 6.7%  |
|      | テレオペ    | 3          | 14   | 0         | 0    | 3    | 3.2%  | 14   | 5.6%  |
|      | サービス    | 5          | 14   | 0         | 0    | 5    | 5.4%  | 14   | 5.6%  |
|      | 看護      | 1          | 2    | 4         | 10   | 5    | 5.4%  | 12   | 4.8%  |
|      | 事務系     | 9          | 9    | 3         | 3    | 12   | 12.9% | 12   | 4.8%  |
|      | 調理      | 0          | 0    | 3         | 10   | 3    | 3.2%  | 10   | 4.0%  |
|      | タクシー運転手 | 1          | 5    | 2         | 4    | 3    | 3.2%  | 9    | 3.6%  |
|      | エンジニア   | 3          | 9    | 0         | 0    | 3    | 3.2%  | 9    | 3.6%  |
| 保育   | 0       | 0          | 2    | 4         | 2    | 2.2% | 4     | 1.6% |       |

※1合計の募集人数が多い順で掲載

※2ケアマネジャー、サービス提供責任者、作業療法士など

#### 【4】地域の事業者向け事業について

##### (1)「事業者向けセミナー」(F)

###### ①実施内容

事業者向けセミナーでは、行政施策にもとづいて女性雇用を提案するのではなく、経営者の視点で女性雇用が働きやすい職場づくりや雇用問題の解決の糸口となることを提案するセミナーを行った。本事業では豊中商工会議所や豊中市産業振興課からの意見も聞き、関係部署との連携が出来た。

(表 32)実施状況

|     | 日程   | テーマ                                | 講師・発表者                                 | 定員 | 参加人数 | 連携先 |            |
|-----|------|------------------------------------|--|----|------|-----|------------|
| 第1回 | 2/27 | 女性の積極採用が会社を変える                     | 財団理事長 林誠子                              | 25 | 15   | 共催  | 無料職業紹介所・豊中 |
|     |      | (事例発表)<br>保育所に寄ってから、何時に出社できますか？    | ハグルマ封筒株式会社                             |    |      |     |            |
|     |      | (事例発表)<br>短時間でも高い生産量を可能にする現場       | 株式会社 鯖や                                |    |      | 後援  | 豊中商工会議所    |
| 第2回 | 7/17 | 女性雇用を促す法制度と企業の課題                   | 笹尾達朗<br>NPO 法人あったかサポート<br>常務理事／社会保険労務士 | 25 | 27   | 共催  | 池田公共職業安定所  |
|     |      | (事例発表)<br>24 時間工場でのワーク・ライフ・バランスの試み | 敷島製パン株式会社                              |    |      | 後援  | 豊中商工会議所    |

第1回目は、財団から地域人づくり事業（雇用型）での女性雇用によって仕事の標準化や分業が進んだ事例を紹介した。(参考 39 頁) 事例発表では「ハグルマ封筒株式会社」より、産休・育休復帰時の個別対応や、多様なシフトパターンを作ることで、就労継続や地域の女性採用につながり、女性社員割合が増加した例を紹介した。「株式会社鯖や」でも子育て中の主婦の働きやすい時間帯を業務時間のピークにすることで、子育て主婦層の働きやすいシフトを実現し、人手不足の課題を解決している。

第2回目は第1回のアンケート結果から「女性採用に関わる法制度」「施策」についてニーズがあることがわかりテーマを設定した。講演では NPO 法人あったかサポートの笹尾達朗常務理事より、女性雇用が時代の要請であり、法制度の実効性を高める必要性を強調した。事例発表は「敷島製パン株式会社」から、24 時間稼働工場の人手不足解消のために現場の意見を汲み上げて、結婚・出産した女性の就労継続を女性社員が中心になって作り上げてきた事例を紹介いただいた。現場視点での取組みは参加者の関心を集めていた。

(表 33)アンケートより抜粋

【民間事業者より】

- ・敷島製パン様の具体的な事例が聞くことが出来、非常に参考になった。  
現状をより詳しく聞いてみたいと思いました。(飲食業)
- ・事例と、法律面経済面からの視点で聞けてよかった。(音楽教室経営)
- ・敷島製パンさんの話は本当に良かったです。活用したいと思います。(小売業)
- ・男性の働き方を変えることが女性雇用につながることをもっと聞きたかった。(製造業)
- ・国の施策や制度が現実の女性就労支援につながっているか、検証の仕組みがあれば  
もっといいと思う。(銀行)

【公的セクターより】

- ・敷島製パン様の事業発表は大変参考になりました。個々の従業員に寄り添った取り組み事例は、  
中小企業や製造業でも取り入れやすい、参考にしやすいものだったと思います。
- ・敷島製パン(株)の実際に企業として取り組みをされている、産休、育休制度等の前向きな姿勢は、とても  
素晴らしいと思いました。これから“女性の働きやすい企業”の最先端となって行って欲しい。
- ・統計では育休利用者は増えているが、制度の認知度はまだ十分ではない。
- ・女性の両立支援はまだ始まったばかりだと改めて感じた。
- ・雇用に関する法制度についてわかっていないところを再確認できた。
- ・制度はあるが、経営者、従業員ともに理解が進んでいない難しさがわかった。

## Ⅱ. 担当講師によるふりかえり

### 【1】もう一度働く短期集中講座 第1期・第3期

すてっぷ相談員 森田江里子（短期集中講座（B）第1期・第3期 就活実践講座講師）

#### （1）個人の力で就労へ踏み出すのは困難

受講者は働きたいという気持ちはあるが、行動ができない。それは、すてっぷでの就労準備相談の事例から、就職活動や就労に対して不安や理想と現実との間のギャップから来ていると考えた。これらは女性の仕事についての考え方も影響しており年代別に傾向がある。このような個々の不安が根強く、経済的に困窮しているなどの緊急度の高い理由がなければ、M字谷間の女性が個人の力だけで就労への一歩を踏み出すことが難しいのではないかと。年代別の傾向は以下のようなものである。

50代： 女性の仕事＝補助的な仕事として考え、現在の社会情勢と本人の仕事観にギャップがある。

40代： 営業など総合職を経験しフルタイムでの働き方が身近だが、子育て中の自分には難しいという現実のギャップに不安を感じて動き出せない。

30代・20代： 経済的な不安から働きたい強い気持ちがある一方で、「子育てをしっかりとしなければならぬ」という思いも強く就労へ踏み出せない。

#### （2）長期的な視野で人生と就労を捉える

講座では長期的な視野でライフプランと「働くこと」を捉え直し、今していることが将来の自分の成長につながることに気づきを促した。これにより仕事イメージのこだわりを減らし、現実と理想にギャップがあっても「今はこれでもいい」と長期的に考えることを提案した。「将来の自分」の成長を意識することが就労意欲を向上させる。

#### （3）フィードバックを重ねて自分自身を言語化

受講者は現実の社会や自分の状況を客観的に考えられずに、自分の仕事を自分で探せなくなっている。グループワークでのフィードバックを重ねることで、客観性を取り戻し自分自身の働きたい気持ちを自分の言葉で言語化できるようになっていった。

また、グループワークでは悩みを共有しヒントを出し合うことや発表を繰り返した。これにより悩みが自分だけのものではないと感じ、グループの誰かが行動出来るのを見ると「自分も出来るかも」という前向きな気持ちが醸成された。

#### （4）受講から相談やハローワークにつながり、行動へ

受講者は離婚や体調不安などの悩みも抱えていることが多かったため、内面的な支援も必要だと考え、講座内ではそのような支援も心がけた。受講を通じてこれらの悩みの整理が進み、すてっぷの就労準備相談につながった例でも少し背中を押すことで就労へと踏み出せた方も多し。また、保育を利用していた方も「保育所や預け先」「病気の時」などの不安を抱えていたが、30代までの場合は経済的な危機感が強いことで、積極的な行動に移りやすく、就労へと結びついている例もあった。

短期集中講座（B）は平日11日間、連続して講座に通うことで、実際に働くイメージにつながり、行動できる（就労できる）状態に近づくことが就労意欲向上に役立ったと感じている。

## 【2】もう一度働く短期集中講座 第2期・第4期

Hiyoshi マネジメントオフィス 堀山可奈子

(短期集中講座 (B) 第2期・第4期 就活実践講座及びパソコン講師)

### (1) 多様な受講者の背景とその結果

第2期第4期はパソコン講座を「検定対策講座」と銘打ったことで、パソコン経験のある方が多かった。同時に事務職への希望も強く、離職していても経済的に困窮している方は少なかった。

一方で開示はしないが離婚やシングルマザーである方、精神的に不安定な方もおられた。立場が異なる者同士が同じ講座でそれぞれに違いを認め合い、交流することで、精神的に不安定な方は社会への不安の払拭につながった。経済的に困窮していない方も自分の現状を振り返るきっかけにつながるメリットがあった。このような個々の状態に気配りしながら講座内容を微調整していった。

### (2) 他センターでの就労支援事例

プログラムの設計にあたっては横浜市男女共同参画推進協会(男女共同参画センター横浜フォーラム)が20年前から実施している「ル・トラヴァイユ」の担当者から事例を聞き、グループワークを多く取り入れた。グループワークによって、受講者は自己開示し、悩んでいるのは自分だけでないと知り、前向きに考えられるようになった。

### (3) 経済的理由と自己実現

受講者の多くは経済的な困窮についての緊急度は低かった。一方で安定した生活の中で自分への自信を失い、パソコン検定による資格取得に対する希望が強く、仕事に対して短期的な捉え方をする傾向があった。講座ではライフプランや将来の自分を考える機会を設け、自分の人生の中で仕事の持つ意味や自己実現としての働き方を考えるように提案した。このライフプランについて積極的に考えた方ほど、就労意欲も高いように見受けられた。女性がブランクから働き始める場合には、経済的な理由だけではなく、自己実現やライフプランの視点が重要であると考えている。

### (4) 検定取得による自信回復

パソコン検定は単に資格取得ではなく自信回復につながるとして重要視している。受講者は、生活と検定対策の勉強を両立することに苦勞しながらも、がんばった自分に対しての手応えにより表情は明るく、自信回復につながった。受講者はたとえ安定した生活を送れていても自分への自信を失っており、講座ではその回復が図れるよう留意した。

(この内容は2015年10月6日の女性就労の支援事業研究会発表内容を事務局が要約したものです)

### Ⅲ. M字谷間層への就労支援の重点課題 ー事業から見えてきた就労阻害要因からー

#### (1) スキルアップとしての ICT 能力

多くの職場、事務系職ではもちろんだが、サービス業や介護の現場でもパソコンの使用が普及している中、基礎的な ICT 能力が求められている。求められる内容は職種によって異なるが、それがごく基礎的なレベルであっても自信を持たずに再就職へ踏み出せないM字谷間層の女性が多い。ほとんどが離職中である対象者は、パソコンを学ぶための高額な受講料は負担できず、ICT能力の不足から安定就労につながりにくい実情もうかがえた。(14頁(2)「もう一度働く！短期集中講座」(B)③多様なM字谷間層参照)

また、短期集中講座開講中に実施したパソコン自習(パソコン講座の終了後に自習時間を設けた)では受講者の約半数が参加するなど、自宅でのパソコン習得環境がないこともうかがえた。

本事業では、受講者はパソコンスキルの取得によって、再就職へのパソコンへの不安が減少している。(19頁(2)「もう一度働く！短期集中講座」(B)⑥受講後の変化参照)このことから、就労への不安の払拭に、無料または、安価でICT能力を獲得できる機会の提供は効果的であったと考える。

#### (2) ブランクによる自信喪失を回復させるマインドアップ

多くの受講者は社会的なブランクがあるため就職ができないと考えていた。ブランクによる自信の喪失は、パソコンスキルだけではなく、コミュニケーション力や、仕事をする能力など多くの面で就労への不安要素となっている。再就職への不安について「自分にできる仕事があるかわからない」「仕事ができるか不安」と回答した受講者も多い(19頁(2)「もう一度働く！短期集中講座」(B)⑥受講後の変化参照)コミュニケーション力以外にも、「生活サイクル」「仕事の能力」など、家事育児介護を主として担ってきた経験があるにも関わらず、総じて受講者は自己評価が低かった。

「短期集中講座」(B)は週4日約3週間の講座に参加するが、9:30~15:30と決められた時間に毎日通うことで修了時には大きな達成感を感じられた方も多かった。また、受講者は、グループワークを通じての仲間づくりや悩みの共有を通じて、相互に励まし合い、前向きな気持ちを醸成していった。労働法に関する基礎知識や、相談先を得ることで、就労への一歩の背中を押すことができた。また、M字谷間層の女性は経済的な緊急度が低い場合に再就職への意欲が低いと考えられるが、ライフプランとして長期的な視点で就労を捉えることで意欲の向上がうかがえた。

このように、スキルアップだけではなく、ブランクによる自信喪失から自信を取り戻し、ライフプラン的な視点から就労を考えるマインドアップ講座は有効だったと考える。

#### (3) 両立への不安と働き方について

M字谷間層の女性の多くは家事や育児を主体的に担っていることで、働き始めることに不安を抱えていた。「短期集中講座」(B)修了後のアンケートでは、再就職で困っていることに「家庭との両立」「うち育児」が増加している。(19頁(2)「もう一度働く！短期集中講座」(B)⑥受講後の変化参照)参加者が最も多い「入門講座」(A)のアンケート結果からも子育てとの両立不安が読み取れる。(12頁)就労と家事育児の両立ができるかどうか、が就労への一歩を阻害する一因となっている。受講から就労へ踏み出した方の中にはフルタイムを希望していても、正規雇用の不規則な長時間勤務の懸念から、非正規職を選択せざるをえない方もおられた。就労者44人のうちフルタイム勤務者は20人程度であったが、正規職員は3人で、契約社員や派遣社員などのフルタイム勤務者が15人、中にはパート勤務でありながら就業時間がフルタイム勤務である就労者も存在した。(8頁)

正規雇用の求人では残業など不規則な長時間労働に対応することが求められる場合があるが、家事育

児の両立を考えた場合に、正規雇用求人での長時間労働を前提とした働き方を懸念し、不安定な非正規求人を選択する就労者が存在している。家事育児の負担量から時間的な制約に縛られている背景もある。

両立支援として、保育所の整備や産休・育休などの法整備が進んでいるが、一方で残業などの長時間労働や男女の性別役割分担意識も、女性の再就職の阻害要因となっている。これらの課題は個人的な問題として解決できない、社会構造の課題であると考ええる。

#### **(4) 情報提供の機会をつくる**

「短期集中講座」(B)の「就活実践講座」では、「働くことの基礎知識」講座を実施した。これは、社会保険や労働契約などについての基礎的な知識を提供するものである。アンケート結果(19頁(2)「もう一度働く!短期集中講座」(B)⑥受講後の変化 参照)からは、受講開始時には希望する働き方が具体的ではなかったが、修了後のアンケートでは、「希望の働き方」について具体的な回答が増加していることがわかる。中でも雇用保険の加入要件である「週20時間以上」を選択する方が増えており、制度の基本的な捉え方を知ることによって具体的な就労時間を考えるきっかけにつながった。

また、受講者には「ハローワークへ行ったことがない」方も多かった。転職活動などを経験することが少ないM字谷間層の女性は、具体的な相談先も持たないことがわかった。事業終了後のヒアリングでは、「短期集中講座」(B)修了生のうち3人がハローワークプラザ千里の相談を申込み、就労を始めている。また、大阪マザーズハローワークにもB「短期集中講座」修了生7人が訪問し、職業紹介を受けていた。この他、本事業では「短期集中講座」(B)の修了生を対象に個別面談の機会を設けた。修了生の18.1%が個別面談を利用、その他すてっぷの就労系相談の利用者は34.7%であった。相談者は複数の就労阻害要因(子どもの預け先がない、家族の介護を抱えている等)を抱えており、個別相談による課題整理や、アドバイスがなければ就労に至らなかった可能性もある。情報提供の機会や個別面談が求職者支援事業の継続支援として就労への背中を押したと考えている。

また受講者には出産を機に離職した方も少なくない。さまざまな事情から就労継続を考えられずにM字谷間へと陥ってしまうが、その前に働く女性の母性健康管理の制度や産休育休の制度や制度を使うための正しい知識を得ることは就労継続につながる。妊娠初期など離職を考える時期に、働きつづけることを選択できるような情報提供やサポートもあわせて必要だと考える。

#### **(5) 多様な雇用形態からのキャリア形成**

第3期、第4期受講者36人のうち11人はフルタイムでの就労を希望しているが22人は週10時間～30時間程度を希望している。(19頁(2)「もう一度働く!短期集中講座」(B)⑥受講後の変化参照)家事・育児の主たる担い手である女性は時間的な制約から短期の契約社員やパート勤務を志望せざるを得ない場合がある。

ブランクからの再就職は時間的な制約により、非正規雇用など不安定な雇用からスタートするが、将来的に子どもの成長等により家事育児の負担が軽減されれば働き方を変えられる可能性が大きくなる。パートから契約社員、正社員への登用を前提としたパート就労者もいたことから、パートから出発して将来的な安定就職者となる可能性は期待できる。正規雇用やフルタイム勤務だけを支援するのではなく、多様な再就職の一步を支援することで、将来的な安定就労者数増加につながる可能性があると考ええる。また、採用側でも、再就職女性の背景を理解してパートや非正規雇用からの安定就労へのキャリアアップの途を検討していく必要があると考ええる。

#### 4. 地域人づくり事業(雇用型)

##### ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業報告 事業報告

##### I. 事業報告

##### 【1】事業概要

本事業は2014年9月～2015年8月の1年間、国の雇用基金を利用した大阪府「地域人づくり事業(雇用拡大プロセス)」として豊中市暮らし支援課より一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団が受託し実施したものである。詳細は(表1)ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業 事業概要のとおりである。

財団では事業開始当初、就労困難なシングルマザーを4人を雇用した。途中、再就職先が決まり離職する者が出たため退職補充を行い、のべ7人を雇用している。

雇用者は、パソコン研修など就労に必要な研修と財団事業での OJT を通じて、再就職に必要なスキルを身につける。OJT では研修で習得したパソコン操作を実際の業務の中で使い、就労経験としてパソコンスキルや仕事に必要な能力を獲得した。

(表 34) ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業 事業概要

|       |  |
|-------|--|
| 事業名   | ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業 (雇用型)  |
| 委託元   | 豊中市 (市民協働部 暮らし支援課)   |
| 実施期間  | 2014/9/1～2015/8/31   |
| 実施金額  | 14,881,926円 (消費税込・全体)  |
| ねらい   | 複合的な就労阻害要因により、離職を余儀なくされている失業中のひとり親家庭の親、特にシングルマザーを対象とした再就職支援を目的とする。   |
| 事業の目標 | 安定就職率 50%以上  |
| 事業内容  | ① 緊急雇用者は、すてっぷという安心できる職場で就労しながら、パソコン検定講座や、就活支援講座等を受講する。その中で、生活基礎力の回復と ICT 活用能力の獲得をめざし、経済的困難や将来への不安に対峙できる力をつけ、自立を目指す。<br>② すてっぷの持つ資源 (ライブラリー、相談室、学習啓発、役員・職員等) と、関係機関等の社会的資源をつなぎ、すてっぷならではのプログラム開発と、就労支援を実践する。 |
| 雇用者   | 4人 (2014年10月採用・臨時職員・週5日勤務) ※ひとり親家庭の親中心<br>再就職先決定による退職に伴い補充をおこない、のべ雇用人数は7人  |

## 【2】雇用状況

### (1) 雇用者の状況

事業開始当初の雇用者はA～Dさんで、4人全員がシングルマザーである。再就職先の決定に伴う退職者補充を随時行い、のべ人数7人を雇用している。退職補充した3人はシングルマザーではないがそれぞれに就労困難を抱えていた。

(表 35) 雇用者の入職から再就職まで

|     | 状況                | 入職     | 就職困難者区分<br>※1 | 配属       | 退職     | 再就職<br>状況 |
|-----|-------------------|--------|---------------|----------|--------|-----------|
| Aさん | 40代 ひとり親<br>子ども1人 | 14年10月 | 母子家庭の母        | 情報       | 15年2月  | 就職        |
| Bさん | 30代 ひとり親<br>子ども2人 | 14年10月 | 母子家庭の母        | 講座       | 15年2月  | 就職        |
| Cさん | 40代 ひとり親<br>子ども3人 | 14年10月 | 母子家庭の母        | 講座⇒情報    | 15年6月  | 就職        |
| Dさん | 40代 ひとり親<br>子ども1人 | 14年10月 | 母子家庭の母        | 総務       | 15年8月末 | 就活中       |
| Eさん | 20代 共働き<br>子ども1人  | 15年3月  | 非正規労働者        | 講座       | 15年7月末 | 就職        |
| Fさん | 20代 シングル          | 15年2月  | 未就職卒業者        | 講座⇒情報⇒講座 | 15年8月末 | 就活中       |
| Gさん | 40代 夫就業<br>子ども2人  | 15年7月  | 非正規労働者        | 情報       | 15年8月末 | 就職        |

※1 地域人づくり事業雇用実績報告書所定の区分による（大阪府提出書類）

○母子家庭の母：ハローワーク又は「大阪府母子家庭等就業・自立支援センター」

（大阪市、堺市、高槻市、東大阪市、豊中市含む）を利用して雇用した方

○非正規労働者：前職が正社員ではなく、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託等であった方

○未就職卒業者：高等学校、大学等卒業後、概ね3年以内で、これまで正社員経験のない方

(2) 出勤状況の推移

概ね問題なく出勤できていた。主な休暇使用や欠勤理由は、子どもの体調不良や遠方親族の慶弔などであった。また、再就職活動が始まると面接等での欠勤もあったが、事業主旨から再就職活動を優先している。

(表 36) 雇用者の出勤状況

| 日数  |     | 10月  | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 合計    |
|-----|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| Aさん | 実労働 | 21   | 19    | 19    | 14    | 12    |       |       |       |       |       |       | 85    |
|     | 所定  | 21   | 19    | 19    | 19    | 15    |       |       |       |       |       |       | 93    |
|     | %   | 100% | 100%  | 100%  | 73.7% | 80.0% |       |       |       |       |       |       | 91.4% |
| Bさん | 実労働 | 12   | 18    | 17    | 18    | 5     |       |       |       |       |       |       | 70    |
|     | 所定  | 12   | 19    | 19    | 19    | 5     |       |       |       |       |       |       | 74    |
|     | %   | 100% | 94.7% | 89.5% | 94.7% | 100%  |       |       |       |       |       |       | 94.6% |
| Cさん | 実労働 | 18   | 13    | 19    | 19    | 19    | 19    | 19    | 18    | 12    |       |       | 156   |
|     | 所定  | 18   | 19    | 19    | 19    | 20    | 21    | 22    | 19    | 16    |       |       | 173   |
|     | %   | 100% | 68.4% | 100%  | 100%  | 95.0% | 90.5% | 86.4% | 94.7% | 75.0% |       |       | 90.2% |
| Dさん | 実労働 | 18   | 19    | 19    | 19    | 20    | 18    | 21    | 20    | 22    | 18    | 18    | 212   |
|     | 所定  | 18   | 19    | 19    | 19    | 20    | 21    | 21    | 20    | 22    | 21    | 22    | 222   |
|     | %   | 100% | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 85.7% | 100%  | 100%  | 100%  | 85.7% | 81.8% | 95.5% |
| Eさん | 実労働 |      |       |       |       |       | 20    | 15    | 18    | 21    | 20    |       | 94    |
|     | 所定  |      |       |       |       |       | 21    | 21    | 20    | 22    | 21    |       | 105   |
|     | %   |      |       |       |       |       | 95%   | 71%   | 90%   | 95%   | 95%   |       | 89.5% |
| Fさん | 実労働 |      |       |       |       | 10    | 20    | 21    | 19    | 15    | 20    | 16    | 121   |
|     | 所定  |      |       |       |       | 10    | 21    | 21    | 20    | 22    | 21    | 23    | 138   |
|     | %   |      |       |       |       | 100%  | 95.2% | 100%  | 95.0% | 68.2% | 95.2% | 69.6% | 87.7% |
| Gさん | 実労働 |      |       |       |       |       |       |       |       | 7     | 21    | 19    | 47    |
|     | 所定  |      |       |       |       |       |       |       |       | 7     | 21    | 22    | 50    |
|     | %   |      |       |       |       |       |       |       |       | 100%  | 100%  | 86.4% | 94.0% |

実労働：有給休暇、慶弔休暇は含まない実際の勤務日数で記載

所定：シフトで定められた出勤日数

### 【3】事業終了後の雇用者の状況

雇用者には本事業の主旨である「再就職」について説明し、早期から個人面談等で事業終了後の進路について相談を行っていた。結果として2014年度中に2人が再就職先を決め退職となっている。事業終了までに雇用者7人中5人が再就職を決めて新しいスタートを踏み出した。しかしながら、フルタイム勤務を希望し、正規雇用と変わらない時間数の契約であっても、正規雇用の求人は少なく、事業目標である安定就職率は未達成であった。有期雇用である契約社員やパートでの採用が多い。

(表 37) 雇用者の就職状況

|     | 希望する職種・条件  | 就職先       | 雇用形態         | 備考                         |
|-----|------------|-----------|--------------|----------------------------|
| Aさん | 事務職        | 物流業       | パート<br>受発注等  | 3か月後離職⇒再就職                 |
| Bさん | 事務職        | 卸売業       | 契約社員<br>営業事務 | 3か月後離職⇒再就職                 |
| Cさん | 支援職<br>事務職 | 工業用機械製造販売 | 契約社員<br>営業事務 |                            |
| Dさん | 販売職        | 就職活動中     |              |                            |
| Eさん | 事務職        | 医療法人      | 正職員<br>診療補助  |                            |
| Fさん | 事務職        | 就職活動中     |              |                            |
| Gさん | 福祉関係       | 一般社団法人    | パート<br>支援職   | 1歳～中学生の障害者<br>支援・預かりデイサービス |

(表 38) 安定就職率

| 事業の目標     | 安定就職者数     |
|-----------|------------|
| 安定就職率 50% | 3人 (42.9%) |

### 【4】研修実施状況

#### (1) OFF-JT プログラム

スキルアップのための基本的なパソコン操作、検定受験対策の「パソコン研修」と、マインドアップのための研修を実施した。マインドアップとしては、再就職活動を始めるために必要な「しごと準備講座」を軸に、雇用者をエンパワメントするためのテーマを取り入れている。

##### ①パソコン研修

Excel Wordの基本講座と、検定取得に向けた対策講座をそれぞれの入職時期にあわせて実施している。一部は本事業単独でも実施しているが、財団が同時期に受託した地域人づくり事業（非雇用型）「結婚・出産等により離職した女性のためのICT能力活用就業促進事業」でのパソコン講座と合同実施することで雇用者は事務局の仕事を担い、他の再就職希望者と出会い視野を広げた。

## ②しごと準備講座

雇用者のライフプランや、キャリアの棚卸しによる自己分析などをマインドアッププログラムとして取り入れた。この他、再就職活動のための、「求人票の読み方」「応募書類の作成」「面接対策」などを実施した。

## ③エンパワメント

社会におけるシングルマザーの状況や、支援の活用についての研修を実施した。

## ④財団主催事業との連携

個別面談（36頁）から個々の志望する進路などを考慮し、本人の再就職に向けてプラスとなるよう、財団主催事業へ研修としての参加を行った。

(表 39) ひとり親家庭の親のための ICT 能力活用就業促進事業 OFF-JT プログラム実施一覧

| No    | 日程  | 時間数×回数          | 合計時間数 | タイトル   | 講師  |
|-------|---|-----------------|-------|--|---|
| 1     | 2014/10/26.16<br>2015/2/16.3/2                      | 2               | 2     | オリエンテーション                                    | 財団職員  |
| 2     | 2014/11/7   | 1               | 1     | センターの設置目的と男女共同参画についての基礎知識                    | 西村壽子(財団事務局長)/木戸典子(財団総務課長)                                     |
| 3     | 2014/10/4~<br>2014/11/8                             | 5×6回            | 30    | 介護事務管理士対策講座                                  | 株式会社ソラスト  |
| 4     | 2014/10/24.27<br>2015/1/23<br>2015/2/3<br>2015/3/12 | 1×2回            | 2     | 個別面談   | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)/西村壽子(財団事務局長)                         |
| 5     | 2014/10/30~<br>2014/11/18                           | 2.5×10回         | 25    | 初級Excel Word                                 | 株式会社ヴェルジェム  |
| 6     | 2014/11/20~<br>2014/12/13                           | 2または2.5<br>×14回 | 33    | 日本情報処理検定対策講座(表計算・文書デザイン)                     | 株式会社ヴェルジェム  |
| 7     | 2015/1/20~<br>2015/2/5                              | 2.5×10回         | 25    | Excel検定対策講座                                  | 堀山可奈子(Hiyoshiマネジメント)  |
| 8     | 2015/1/22   | 2               | 2     | 自分の強みとキャリアの棚卸し                               | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 9     | 2015/1/29   | 2               | 2     | ライフプランとキャリアプラン                               | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 10    | 2015/1/30   | 2.5             | 2.5   | 働くためのセーフティネット・自分を守るための基礎知識                   | 林誠子(財団理事長)/西野智子(財団総務主任)                                       |
| 11    | 2015/2/5  | 2               | 2     | 社会の中の「シングルマザー」と公的支援の活用事例                     | 神原文子(NPO法人しんぐるまざあずぶおーらむ・関西)                                   |
| 12    | 2015/2/6  | 2               | 2     | 支援を引き出す力・味方を増やす                              | 大森順子(公益社団法人こども情報研究センター)                                       |
| 13    | 2015/2/17   | 2               | 2     | 応募書類作成「人事担当者はこう見ている」                         | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 14    | 2015/2/19   | 2               | 2     | 応募書類作成「光る履歴書に見せるために」                         | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 15    | 2015/2/23   | 2               | 2     | 気持ちのいい職場コミュニケーションとは？                         | 本多利子(臨床心理士)   |
| 16    | 2015/2/24   |                 |       |  |   |
| 17    | 2015/2/27   | 1               | 1     | 女性と若者のための合同企業説明会                             | 無料職業紹介所豊中 共催事業  |
| 18    | 2015/3/5  | 2               | 2     | 第一印象アップのコツ・ビジネスマナー                           | 織本智月(コム・ル・シエル)  |
| 19    | 2015/3/12   | 2               | 2     | 面接で気をつけたいポイント、質問対策など                         | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 20    | 2015/3/19   | 2               | 2     | 長く働くために効く、セルフマネジメント                          | 豊中市保健所  |
| 21    | 2015/3/23   | 2               | 2     | さわやかに自分を伝えるコミュカ向上トレーニング                      | 本多利子(臨床心理士)   |
| 22    | 2015/3/24   |                 |       |  |   |
| 23    | 2015/3/26   | 2               | 2     | 求人票の見方                                       | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 24    | 2015/5/21~<br>6/18                                  | 2×5回            | 10    | PowerPoint研修                                 | 株式会社ヴェルジェム  |
| 25    | 2015/4/28~<br>5/14                                  | 2.5×10          | 25    | 初級Excel Word講座                               | 株式会社ヴェルジェム  |
| 26    | 2015/6/22~7/9                                       | 2.5×11          | 27.5  | Excel検定対策講座                                  | 堀山可奈子(Hiyoshiマネジメント)  |
| 27    | 2015/5/11   | 2.5             | 2.5   | 働くことはあなたのセーフティネット                            | 林誠子(財団理事長)/西野智子(財団総務主任)                                       |
| 28    | 2015/6/11   | 2.5             | 2.5   | もう一度働く！入門講座6月度                               | 堀山可奈子(Hiyoshiマネジメント)/山中友瑛(ポーラザビューティ)                          |
| 29    | 2015/5/22~<br>8/21                                  | 2×4回            | 8     | 就活カフェ  | 衣笠昌子(ハローワークプラザ千里)/那須佳代(池田公共職業安定所)<br>森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー) |
| 30    | 2015/6/27   | 2               | 2     | 男女共同参画週間事業<br>「ピクティ入門」著者が語る～だれもが生きやすい幸せ社会とは～ | 竹信三恵子(ジャーナリスト・和光大学教授)   |
| 31    | 2015/7/25   | 2               | 2     | すてっぷゼミナール③「男が介護するということ」                      | 津止正敏(立命館大学産業社会学部教授)   |
| 32    | 2015/04/16~<br>8/21                                 | 1×5回            | 5     | 個別相談   | 森田江里子(すてっぷ相談員キャリアカウンセラー)                                      |
| 33    | 2015/7/3  | 1               | 1     | 就職活動相談                                       | 地域就労支援センターコーディネーター  |
| 34    | 2015/7/17   | 1               | 1     | 合同企業面接会                                      | 池田公共職業安定所 共催事業  |
| 合計時間数 |   |                 | 232.0 |  |   |

※受講プログラムは個人の状況や必要性に応じて選択している。

## (2) 個別面談

早期からの個別面談を行い本人のおかれている状況、志望する進路についてアセスメントを実施した。

①入職時個別面談（事務局長・総務課長）

②就職に向けた個別面談（森田相談員、事務局長）毎月1回、1時間

（表 40）個別面談の実施状況

| 実施年度                   | 2014 年度                          | 2015 年度                         |
|------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 実施日                    | 12月4、11日、1月8日、22日<br>2月20日、3月27日 | 4月16、17日、5月22日<br>6月19日、7月9、10日 |
| 1人あたり回数<br>※勤務期間により異なる | 4回（各回1時間程度）                      | 4回（各回1時間程度）                     |

## (3) OFF-JT プログラムとの連携

### ①パソコンを使用する OJT の実施

パソコン研修で習得したことを実際の仕事で活かせるよう、各所属部署ではパソコンを使用する仕事を積極的に OJT に取り入れた。習熟度の確認やパソコン研修の状況把握には後述（4）業務日誌での情報共有、コミュニケーションが役立った

### ②PowerPoint 研修

前述（1）-①（33 頁）パソコン研修で実施した PowerPoint 研修は、テーマを「わたしの就職活動」として、個別面談や OJT など OFF-JT 以外のプログラムで学んだことと自分の進路について発表する作品を作成した。

（表 41）PowerPoint 研修の詳細

|   |
|---|
| ねらい：自分自身の方向性の確認、自覚を促す。情報を整理し、発信・表現する力の育成。<br>作品制作を通じて PowerPoint の操作だけでなく「自分の考えを発表すること」を学ぶ。 |
| 方 法：「わたしの就職活動」をテーマにプレゼンテーションを行なうための作品を作成。<br>最終回で各自がプレゼンテーション（1人5分）を行なう。                    |
| 日 程：2015年5月21日（木）～6月18日（木）13:30～15:30   |
| 時間数：2時間×5回＝10時間   |
| 講 師：株式会社ヴェルジェム  |

## (4) 業務日誌の実施

雇用者には毎日の研修や OJT での内容や、感想を業務日誌に記録してもらった。これは日々の業務を記録することで、就労経験を言語化し、あわせて文章作成力を養う目的で実施した。また、毎週提出した後配属課の主任職以上の職員からコメント欄にフィードバックを行ったことで、本人と所属部署のコミュニケーションもはかった。

## 【5】パソコン研修の成果

### (1) 検定結果

雇用者は、パソコン研修の中で「検定対策講座」を受講し、日本情報処理検定協会「表計算 (Excel)」 「文書デザイン (Word)」を受検した。雇用前にはパソコンの経験のなかった雇用者も含め受検した全員がいずれかの級を取得している。これら検定取得は雇用者の自信回復につながった。

※検定受検料は個人負担

(表 42) パソコン検定取得状況

|     | 雇用前 PC 経験の状況                      | 取得級         |               |
|-----|-----------------------------------|-------------|---------------|
|     |                                   | 表計算 (Excel) | 文書デザイン (Word) |
| Aさん | 職業訓練経験あり、実務経験なし                   | 1級          | 2級            |
| Bさん | キーボード経験なし                         | 3級・4級・2級    | 2級・3級         |
| Cさん | 職業訓練経験あり、実務経験なし                   | 受験不要 ※1     | 1級            |
| Dさん | キーボード経験なし                         | 4級・2級       | 4級            |
| Eさん | キーボード経験あり、実務経験なし                  | 2級          | 受験なし ※2       |
| Fさん | キーボード経験あり、実務経験なし                  | 2級          | 受験なし ※2       |
| Gさん | 短期集中講座第3期受講者<br>初級 Excel Word 受講済 | 受験なし ※2     | 受験なし ※2       |

※1：雇入れ前に1級取得済み ※2：途中入職のため受験なし

## 【6】OJTについて

### (1) OJT の業務内容

財団では2013年度に実施した「ひとり親 ICT 活用推進員育成就職促進事業」など、2012年度より緊急雇用創出事業などで就労困難者のOJTを受け入れてきた。雇用者は財団が指定管理を受託している「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」の管理・運営事業にOJTを通じて携わった。

(表 43) 財団でのOJT内容

| 部署 | 主な業務内容               | 具体的なOJT内容   |
|----|----------------------|---|
| 情報 | すてっぷ情報ライブラリーの運営      | ・カウンターでの所蔵図書の貸出、返却<br>・新規利用カードの発行<br>・利用者への利用案内 など  |
| 講座 | 講座運営事業               | ・男女共同参画に関する講座の運営<br>・講座申込対応などの事務処理<br>・受講者への電話連絡 など |
| 総務 | センター施設提供事業<br>財団運営管理 | ・貸室利用申込の受付、処理<br>・センター施設、備品管理<br>・庶務、経理、総務業務の補助 など  |

業務の多くはパソコンでの事務作業を伴うため、雇用者はパソコン研修で習得したパソコンスキルを実際の仕事の中で活用することができた。また、「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」は市の公共施設であり、多くの利用者が訪れる。雇用者は利用者対応での OJT を通じて、接遇やマナー、言葉遣いなども学ぶことが出来た。

## (2) 雇用者のふりかえり、感想からみた財団 OJT

OJT では財団職員による丁寧な業務指導を心がけた。また前述 (36 頁) の業務日誌では、雇用者の感じたことに対して、所属部署の主任職以上から、内容に合わせてアドバイスをを行っている。

### (表 44) 所属課からのフィードバック例 (業務日誌より抜粋)

(感想文をまとめられない、といった雇用者に対して)

最初から長い文章を書くのは大変です。まず書きたいポイントを箇条書きにして、次に似た内容でグループに分けて筋書きを作って文章にしていくという方法もありますよ。(ライブラリー 2015. 2. 15 締分より)

(カウンター業務を 1 人で担当した雇用者に対して)

単純な事務作業やちょっとした顧客対応にも丁寧に向き合い、正確に仕上げていく姿勢に感心します。成果の見える仕事の基本にはこのような地道な作業がなくてはならないものです。(総務 2015. 8. 15 締分より)

就労困難者の多くが自信を喪失していることが多いことから、OJT では各職員が業務を段階的に指導し、雇用者の出来る業務を少しずつ増やしていった。業務上のことだけでなく、日々の関わりの中から、各職員がそれぞれに励ますことで、雇用者の自信が徐々に回復したと考えられる。

### (表 45) 事業終了時の雇用者の感想より (要約)

- ・子どもが生まれたことで、飲食業から事務職への転換が必要になったが、事務での実務経験がなかった。仕事ではわからないことがあると何度も聞いてしまったが、忙しい中、丁寧に教えてくれて嬉しかった。少しずつ仕事の流れがわかるようになり、パソコンの研修で習得したことを活かせるようにもなった。出来ることが増えて自信を持つことにつながったことで就職できたのだろうと思う。
- ・保育士以外の経験がなかったが、スタッフとして講座の準備や片付けをやることで仕事の段取り、ToDo 表を作成し取りこぼしがないように進めることなど、失敗をたくさんしながら勉強できた。指導だけではなくたくさん褒めてもらうことで、自信を持つことが出来た。PC 以外にも多くの情報を得る機会が多く、生き方に幅が持てるようになった。
- ・個人面談では自分の得意不得意を整理しながら、『自分に向いていない仕事は頑張れない。周りが認めてくれることはやりがいとなって仕事楽しくなる』と教えてもらった。仕事に対しての考え方も、ライブラリーであればどのような本が所蔵されているのかなど、仕事として意識して取り組まなければと気づけた。仕事を通じて職員の方に暖かく見守ってもらい、新たな旅立ちができることに感謝している。

- ・生活が大きく変わる中で、苦手な PC に取組み、最終的に目標以上の級を取得できたことで自信になった。また、段取りが悪く仕事が溜まってプチパニックをおこしていると、職員の方々がさりげなく順序立てて見守ってくれた。短所だと思っていた「作業が遅い」ことを「丁寧でじっくりと取り組んでいる」長所として捉えてもらえたことが嬉しかった。PC が出来た自信と、励ましてもらったことで、停滞した人生を動かすことにつながった。
- ・仕事は初歩の初歩から何度も教えてもらい、失敗がなくても仕事を振ってもらえた。根気よく教えてもらえる環境が心強かった。PC だけではなくライフプラン等を学び、人生の目標が持てやる気につながった。個別面談で求人を探し方などをきめ細かくフォローをしてもらえた。求人を見るポイントを掴んでいけば、受ける前から会社側のことが見えてきて、希望職種を拡げて就職活動を行えた。これらのコミュニケーションの一つひとつが原動力になり、正社員のスタートラインに立つことが出来た。
- ・短期のアルバイト以外に社会人経験がほとんどなく、自信が持てなかった。パソコン研修があることを知りすてっぷに応募した。基本操作もあやふやだったパソコンは 2 級を取得できた。仕事でも、電話対応など初めてで不安だったが、何度もしているうちに慣れていき、職員の方から「上手だね」と言われて自信がついた。アンケート入力も「入力が速い」と褒めてもらい、自分にも得意なことがあるんだ、と前向きになれた。
- ・過去の経験から事務の仕事は難しくないものの、機器の進化についていけず、周囲の方に丁寧に教えてもらった。すてっぷでは、優しい気持ちで人に対する業務を行っているんだと、職員の対応から感じ取った。また、ブランクからフルタイムへチャレンジすることで生活時間の管理が出来、仕事感覚を思い出すことができた。すてっぷでの経験から、就労という形で自分のやりたかった社会支援に携わることへとつなげることが出来た。

## 【7】財団内での成果

### (1) 業務の標準化、分担

就労経験の浅い雇用者を受け入れた部署では、OJT にあたり業務内容の整理や作業の標準化が進んだ。特に総務での貸室カウンター業務や、情報ライブラリーでのカウンター業務などマニュアル化やルール化が進み、属人的ではない仕事の進め方を整理するきっかけにつながった。

### (2) 働きやすい職場づくりへ

子どもの体調不良など急な休みが発生することも考えられる雇用者の働き方を受け入れたことで、業務内容の共有や、相互に助け合うことで、だれもが働きやすい職場へと変わる一歩につながった。

## 【8】課題

### (1) 事業実施の時期について

本事業の実施期間は 2014 年 9 月～2015 年 8 月の 1 年間である。雇用者は事業終了までに次の就職先を探すことになるが、中途採用求人は 1 月～3 月が最も多い傾向がある。本事業では、2 月に再就職先を決めた雇用者がプログラム途中で中途退職することになった。十分に効果的な支援を行なうためには、

中途採用求人の多い時期にプログラムが終了できるようなスケジュールでの実施が望ましいと考える。

(2) 他事業との連携

本事業は、地域人づくり事業として前述の「結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業」と財団内で並行して実施した。財団内ではプログラムを連携し、再就職希望者同士の出会いや気づきを促すことにもつながった。また、複数の再就職支援事業を並行して実施することは、相互連携により OFF-JT 事業の充実にもつながった。このように、支援対象の異なる事業であっても組織内で連携の体制がとれるような事業実施が今後も活かされるべきだと考える。

## 5. 政策提言

ここでは、1年間にわたる受託事業「地域人づくり事業」の実施を踏まえ、女性就労の支援事業研究会での検討にもとづいて、女性の再就職支援に向けて求められる取り組みについて提案する。

### 【1】女性の再就職を困難にする社会的課題をふまえ、就労支援施策として継続した再就職支援が必要である

- ・受託事業「地域人づくり事業」(非雇用型)における「もう一度働く！」集中講座(パソコン、就活実践)へのニーズの高さが明らかになった(4期実施し、定員の2倍を上回る応募状況)。
- ・受講生を見ると、再就職への不安要因として①結婚、出産による離職で就労からのブランク②年齢の高さ③パソコンのスキル④子育て・家庭との両立をあげている。
- ・受講生は「もう一度働く！」集中講座を通して、パソコンスキルへの不安を解消した。また、就活実践講座で労働法規や社会保障の基本的な捉え方を学んだ。それらを通して、長期的な視野で自分の人生と働くことを捉えなおし、将来に向けて、いま、一步を踏み出す重要性を認識した。
- ・パソコン講座、グループワークを主要素とする就活実践講座、個別相談、ハローワークとのアクセスを用意するなどきめ細かに受講生を後押しすることによって、半数以上が再就職を果たしている(ただし、安定雇用とは言えない)。
- ・受講生の年代による違いがあるものの、社会意識を反映して多くが「子育て」は自分の役割と捉えており、M字の谷間にある女性が個人の努力で再就職をすることは困難である。したがって、就労支援施策として継続した再就職支援の取り組みが求められている。

### 【2】女性がM字の谷に入る前に支援する必要がある

- ・現在も結婚や出産を機に仕事をやめる女性が跡を絶たない。結婚前に働いていた人を100とすると、結婚で27.7が離職し、第一子出産で36.0が離職している(「男女共同参画白書平成25年度版」)。妊娠出産する女性たちが継続して働くことの困難さは、マタニティハラスメントという言葉が象徴している。
- ・一方で、いったん離職した女性の再就職が困難であることから、離職する前の手立てが重要になってくる。ところが、豊中市の施策を見ても「子育て支援」「母子の健康」は手厚いが、妊娠出産して働こうとする女性、そのパートナーへの支援は残念ながら十分とは言えない。
- ・財団が実施する「働く女性のちょこっと相談」では、妊娠出産を経ても就労を継続するために産前産後休業、育児休業などの制度を具体的に伝えることを通して退職しないですむようになった事例がいくつもみられる。
- ・妊娠初期の女性への情報提供、相談窓口の設置によって妊娠出産を経ても就労を可能にする支援を行うことが急務である。また、そのような相談窓口が存在すること自体が女性を励ますことになる。

### 【3】再就職支援の一環として就職活動中の「保育枠」を設ける必要がある

- ・「地域人づくり事業」(非雇用型)を見ると、講座実施中に一時保育を利用した受講生は17.1%である。子どもが小さくても働く意欲が見られるが、いざ動き出そうとしたときに保育がないため就職活動を断念せざるを得ない受講生もいた。
- ・したがって、再就職支援事業の一環として就職活動を行おうとする女性のために保育を枠取りしておくことによって、再就職活動は大きく動き出すと考えられる。



## 6. 巻末資料

### I. 地域人づくり事業（非雇用型）短期集中講座プログラム

第1期

第2期

第3期

第4期

### II. 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団広報誌

すてっぷ ON! vol.8



もう一度働く！短期集中講座 第1期 プログラム

午前:9:30~12:00 午後 13:00~15:30 休憩 12:00~13:00

(単位:時間)

|    | 日程     | 曜日 | 会場           | 講座名                  | テーマ                                   | 担当講師      | 就労実践 | PC  |
|----|--------|----|--------------|----------------------|---------------------------------------|-----------|------|-----|
| 1  | 10月30日 | 木  | セミナー室<br>2AB | オリエンテーション<br>初級Word① | 財団より挨拶・オリエンテーション<br>WindowsとWordの基本操作 | 事務局<br>井関 |      | 2.5 |
|    |        |    |              | 初級Word②              | 文字の入力                                 | 井関        |      | 2.5 |
| 2  | 10月31日 | 金  | セミナー室<br>2AB | 就活実践講座               | 仲間づくりと自己開示                            | 森田        | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 仲間づくりと自己開示                            | 森田        | 2.5  |     |
| 3  | 11月4日  | 火  | 視聴覚室         | 初級Excel①             | Excelの基本基本操作/データの入力                   | 青木        |      | 2.5 |
|    |        |    |              | 初級Excel②             | 表の作成～関数・セル参照                          | 青木        |      | 2.5 |
| 4  | 11月6日  | 木  | セミナー室<br>2AB | 初級Word③              | 文書の作成                                 | 井関        |      | 2.5 |
|    |        |    |              | 初級Word④              | 表の作成                                  | 井関        |      | 2.5 |
| 5  | 11月7日  | 金  | 視聴覚室         | 就活実践講座               | 自分を知る                                 | 森田        | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 自分を知る                                 | 森田        | 2.5  |     |
| 6  | 11月10日 | 月  | 視聴覚室         | 就活実践講座               | 課題「調べてみよう」                            | 岩崎<br>事務局 | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 働くことは人生のセーフティネット<br>(労働法。社会保障・税)      | 林         | 2.5  |     |
| 7  | 11月11日 | 水  | セミナー室<br>2AB | 初級Excel③             | 表の作成～装飾・印刷など                          | 青木        |      | 2.5 |
|    |        |    |              | 初級Excel④             | グラフの作成                                | 青木        |      | 2.5 |
| 8  | 11月13日 | 金  | セミナー室<br>2AB | 初級Excel⑤             | データベースの利用                             | 青木        |      | 2.5 |
|    |        |    |              | 初級Word⑤              | グラフィック機能の利用                           | 井関        |      | 2.5 |
| 9  | 11月14日 | 土  | 視聴覚室         | 就活実践講座               | 現実を見据える～課題発表と計画作り～                    | 森田        | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 現実を見据える～課題発表と計画作り～                    | 森田        | 2.5  |     |
| 10 | 11月17日 | 火  | 視聴覚室         | 就活実践講座               | 課題「ライフイベント表」作成                        | 岩崎<br>事務局 | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 「履歴書・職歴書作成」                           | 岩崎<br>事務局 | 2.5  |     |
| 11 | 11月18日 | 水  | セミナー室<br>2AB | 就活実践講座               | 私の一歩 ～行動の具体化～                         | 森田        | 2.5  |     |
|    |        |    |              | 就活実践講座               | 私の一歩 ～行動の具体化～<br>修了式(30分)             | 森田<br>事務局 | 2.5  |     |

もう一度働く！短期集中講座 第2期 プログラム

午前:9:30~12:00 午後 13:00~15:30 休憩 12:00~13:00

(単位:時間)

|    | 日程    | 曜日 | 会場           | 講座名        | テーマ  | 担当講師      | 就労実践 | PC  |
|----|-------|----|--------------|------------|--|-----------|------|-----|
| 1  | 1月20日 | 木  | セミナー室<br>2AB | 就活実践講座①    | 財団より挨拶・オリエンテーション<br>自己紹介(なりたい自分がありますか?)<br>自分を知る①(性格チェック、適職チェック) | 堀山        |      | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座②    | 自分を知る②(自分の強みは何ですか?)<br>働く上での問題点・解決策を考える                          | 堀山        |      | 2.5 |
| 2  | 1月22日 | 金  | セミナー室<br>2AB | EXCEL検定対策① | 基本操作の説明・3級解説   | 堀山        | 2.5  |     |
|    |       |    |              | EXCEL検定対策② | 2級解説   | 堀山        | 2.5  |     |
| 3  | 1月23日 | 火  | 視聴覚室         | 就活実践講座③    | キャリアプラン作成<br>(将来のプランは・・・ありますか?)                                  | 堀山        |      | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座④    | 働くことはあなたのセーフティネット  | 林         |      | 2.5 |
| 4  | 1月26日 | 木  | セミナー室<br>2AB | 就活実践講座⑤    | 第一印象アップのコツ<br>(人生第一印象が勝負!)                                       | 横溝        |      | 2.5 |
|    |       |    |              | EXCEL検定対策③ | 1級解説   | 堀山        |      | 2.5 |
| 5  | 1月27日 | 金  | 視聴覚室         | 就活実践講座⑥    | ビジネスマナー、電話のかけ方<br>(再就職には必須!あなたは大丈夫?)                             | 可児        | 2.5  |     |
|    |       |    |              | EXCEL検定対策④ | テキスト練習問題   | 堀山        | 2.5  |     |
| 6  | 1月29日 | 月  | 視聴覚室         | 就活実践講座⑦    | 応募書類の書き方<br>(職務経歴書・履歴書)  | 堀山        | 2.5  |     |
|    |       |    |              | 就活実践講座⑧    | 応募書類の作成  | 堀山        | 2.5  |     |
| 7  | 1月30日 | 金  | セミナー室<br>2AB | EXCEL検定対策⑤ | テキスト練習問題   | 可児        |      | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座⑨    | 面接対策<br>(採用側からの視点・ロールプレイング)                                      | 堀山        |      | 2.5 |
| 8  | 2月2日  | 月  | セミナー室<br>2AB | EXCEL検定対策⑥ | テキスト練習問題   | 可児        |      | 2.5 |
|    |       |    |              | EXCEL検定対策⑦ | テキスト練習問題   | 堀山        |      | 2.5 |
| 9  | 2月3日  | 火  | 視聴覚室         | EXCEL検定対策⑧ | テキスト練習問題   | 堀山        | 2.5  |     |
|    |       |    |              | EXCEL検定対策⑨ | 検定   | 堀山        | 2.5  |     |
| 10 | 2月5日  | 木  | 視聴覚室         | 就活実践講座⑩    | キャリアプラン発表(これからの私・・・)   | 堀山        | 2.5  |     |
|    |       |    |              | 修了式        | 修了式<br>今後の就労支援について   | 堀山<br>事務局 | 2.5  |     |

もう一度働く！短期集中講座 第3期 プログラム

午前:9:30~12:00 午後 13:00~15:30 休憩 12:00~13:00

(単位:時間)

|    | 日程    | 曜日 | 会場          | 講座名     | テーマ                             | 担当講師       | 就労実践 | PC  |
|----|-------|----|-------------|---------|---------------------------------|------------|------|-----|
| 1  | 4月24日 | 金  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座① | 開講式・オリエンテーション(15分)<br>仲間づくりをしよう | 事務局<br>森田  | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座② | 私と家族の未来を考えよう                    | 森田         | 2.5  |     |
| 2  | 4月27日 | 月  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座③ | ハローワーク活用法 入門編(2時間)              | HW池田       | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座④ | 仕事に求めるもの                        | 森田         | 2.5  |     |
| 3  | 4月28日 | 火  | セミナー<br>2AB | Word①   | WindowsとWordの基本操作<br>・文字の入力①    | 青木         |      | 2.5 |
|    |       |    |             | Word②   | WindowsとWordの基本操作<br>・文字の入力②    | 青木         |      | 2.5 |
| 4  | 4月30日 | 木  | セミナー<br>2AB | Excel①  | Excelの基本操作/データの入力               | 元木         |      | 2.5 |
|    |       |    |             | Excel②  | 表の作成～関数・セル参照                    | 元木         |      | 2.5 |
| 5  | 5月1日  | 金  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座⑤ | 計画を立てよう                         | 森田         | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座⑥ | 私の出来ること、強みを探そう                  | 森田         | 2.5  |     |
| 6  | 5月7日  | 木  | セミナー<br>2AB | Excel③  | 表の作成～装飾・印刷など                    | 元木         |      | 2.5 |
|    |       |    |             | Excel④  | グラフの作成                          | 元木         |      | 2.5 |
| 7  | 5月8日  | 金  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座⑦ | 応募書類の作成                         | 事務局・<br>岩崎 | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座⑧ | 働く私のイメージを明確にしよう                 | 森田         | 2.5  |     |
| 8  | 5月11日 | 月  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座⑨ | 働くことはあなたのセーフティネット               | 林・西野       | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座⑩ | ハローワーク活用法 実践編(2時間)              | HW池田       | 2.5  |     |
| 9  | 5月12日 | 火  | セミナー<br>2AB | Word③   | 文書の作成・表の作成①                     | 青木         |      | 2.5 |
|    |       |    |             | Word④   | 文書の作成・表の作成②                     | 青木         |      | 2.5 |
| 10 | 5月14日 | 木  | セミナー<br>2AB | Word⑤   | グラフィック機能の利用                     | 青木         |      | 2.5 |
|    |       |    |             | Excel⑤  | データベースの利用                       | 元木         |      | 2.5 |
| 11 | 5月15日 | 金  | セミナー<br>2AB | 就活実践講座⑪ | 行動計画を立てよう                       | 森田         | 2.5  |     |
|    |       |    |             | 就活実践講座⑫ | 私のキャリアプラン<br>修了式・事務局連絡など(60分)   | 森田<br>事務局  | 2.5  |     |

もう一度働く！短期集中講座 第4期 プログラム

午前:9:30~12:00 午後 13:00~15:30 休憩 12:00~13:00

単位:時間)

|    | 日程    | 曜日 | 会場           | 講座名       | テーマ   | 担当講師      | 就労実践       | PC  |
|----|-------|----|--------------|-----------|---|-----------|------------|-----|
| 1  | 6月22日 | 月  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | 開催にあたって(15分事務局)<br>自己紹介(自分にあだ名をつける)<br>KJ法(再就職の壁) 問題点の明確化 | 堀山        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | Excel基本操作文字の入力  | 堀山        |            | 2.5 |
| 2  | 6月23日 | 火  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | ライフライン(過去の振り返り)<br>ライフプランを考える                             | 堀山        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 使用関数説明3級解説  | 堀山        |            | 2.5 |
| 3  | 6月25日 | 木  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | コミュニケーション術<br>(アサーショントレーニング)                              | 堀山        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 2級解説3級模擬問題練習<br>★受験級決定                                    | 堀山        |            | 2.5 |
| 4  | 6月26日 | 金  | セミナー<br>2AB  | Excel検定対策 | 2級解説3級模擬問題練習  | 堀山        |            | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座    | ハローワーク活用法 入門編<br>すてっぷ活用法                                  | HW<br>西村  | 2.0<br>0.5 |     |
| 5  | 6月29日 | 月  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | 第一印象アップビジネス敬語   | 横溝        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 模擬問題練習1   | 堀山        |            | 2.5 |
| 6  | 6月30日 | 火  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | 職務経歴書作成   | 堀山        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 3級復習2級解説  | 堀山        |            | 2.5 |
| 7  | 7月2日  | 木  | セミナー<br>2AB  | 就活実践講座    | 面接のポイントロールプレイング<br>第2期修了生体験談                              | 堀山        | 2.5        |     |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 模擬問題練習2   | 堀山        |            | 2.5 |
| 8  | 7月3日  | 金  | セミナー<br>1ABC | 就活実践講座    | 働くことはあなたのセーフティネット<br>書類作成                                 | 西野<br>事務局 | 2.0<br>0.5 |     |
|    |       |    |              | 就活実践講座    | ハローワーク活用法実践編<br>すてっぷ情報ライブラリー活用                            | HW<br>小河  | 2.0<br>0.5 |     |
| 9  | 7月6日  | 月  | セミナー<br>2AB  | Excel検定対策 | 模擬問題練習3   | 澤田        |            | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座    | 職務経歴書作成   | 堀山        | 2.5        |     |
| 10 | 7月7日  | 火  | セミナー<br>2AB  | Excel検定対策 | 模擬問題練習4   | 堀山        |            | 2.5 |
|    |       |    |              | Excel検定対策 | 模擬問題練習5   | 堀山        |            | 2.5 |
| 11 | 7月9日  | 木  | セミナー<br>2AB  | Excel検定対策 | 検定試験  | 堀山        |            | 2.5 |
|    |       |    |              | 就活実践講座    | ライフプラン発表<br>修了式・事務局連絡など(60分)                              | 堀山<br>事務局 | 1.5<br>1.0 |     |

27.5

27.5

女性差別撤廃条約批准 30年  
人と地域を元気にする男女共同参画

# すてっぷ ON!

季刊  
2015.03  
vol.8

- \*すてっぷで女性就労支援に取り組む意義 ～地域人づくり事業を実施して～ < 林 誠子 >
- \*「もう一度働く!講座(第1期)短期集中 Excel・Word」  
講座修了生の本音トーク / 講座講師からのメッセージ < 森田 江里子・岩崎 仁美 >
- \*すてっぷ情報ライブラリー 所蔵資料紹介
- \*「このまちで楽しく生きる ～仕事人間じゃない、新しい自分～」開催しました!
- \*リレーエッセイ 私とジェンダー  
男性も、女性に対する暴力に反対の声を上げよう!  
～ホワイトリボンキャンペーンに携わって < 多賀 太 >
- \*すてっぷ主催事業のご案内

### ■女性も主権者として 生きる

日本政府が女性差別撤廃条約を批准して30年を迎えます。その間、男女雇用機会均等法の制定、家庭科の男女共修、労働基準法改正と母性保護規定の強化、育児・介護休業法の制定など、仕事も家庭も男女が共に担うための法的整備は前進しました。しかし、経済競争激化に伴い派遣法改正などで労働規制は緩和され、2000年代以降は正社員の長時間労働と女性と若者の非正規化は著しく進みました。その結果、健康保険・年金保険などの社会保障や育児・介護休業の適用も受けにくく、生活の安全・安心を奪われる人が増加し、社会保障システムの存続も揺らぐ一方で、少子高齢化で働き手の不足も深刻な状況です。

このような時に、女性を社会の支え手・主権者と位置づけ、働きたい女性たちが働けるようになることは、女性自身と家族や企業など周囲をも変えていく力になります。すてっぷが男女共同参画社会基本法、豊中市男女共同参画推進条例に基づき女性就労支援に取り組むことは、持続可能な社会保障の仕組みをつくるうえでも市民の実態からしても当然の流れです。

### ■豊中市の就労支援と 「地域人づくり事業」

豊中市は、全国に先がけ就労困難者の支援に取り組んでいます。地域就労支援センターが中心となって障害を持つ人、若年引きこもり、ひとり親などの就労が難しい人々と受け皿企業にも寄り添う伴走型支援は、高い評価も受けています。しかし、出産・育児などでいったん退職した女性たちの再就職支援は、「本人に働く意欲がない」「夫の収入で暮らせる」などと捉えられがちで必ずしも十分ではなく、豊中市の出産・育児期の女性の労働力は全国平均より10%程度低くなっています(図1参照)。

2014年度、そのような女性たちを重要な支援の対象と位置づけた豊中市の施策を受け、当財団は国の事業「地域人づくり事業」を豊中市を通じて受託しました。事業には2種類あります。1つは、家事・育児などで就労のブランクがあり、働きたいが踏み切れないでいる女性を対象にした再就職のための短期集中型講座です(次ページ参照)。パソコン講座と就活実践講座で構成されたこの講座への応募数は、定員の2倍に上り、豊中市の女性の再就職に対するニーズも変化し、高まっていることが伺えます。

もう一つは、4人のシングルマザーを当財団が雇用(最長1年)し、パソコン講座や介護事務講座などを専門講師に学びつつ、日常業務を通して職員から、電話対応をはじめ仕事の仕方を学ぶことで人材育成し、次の雇用につなぐ事業です。

### ■成果1(短期集中非雇用型) 高い満足度、 早い就職活動開始

「もう一度働く!講座」の参加者は、年代も30～50代と幅広く、就学前の子どもがいる・長すぎるブランク・家族の応援がない・病気がち・自信喪失・など多様な背景を持っていました。



一般財団とよなか男女共同参画  
推進財団理事長  
林 誠子

就活実践講座の中では、時間をかけ丁寧に自分の振り返りなどを行い、そのうえでこれからのライフプランを立てる作業と発表が行われました。アンケート結果の満足度は90%を超え、「自分の今までとこれからを、じっくり時間をかけて考えることができる初めての機会でした」「講座を受けるたびに働きたい気持ちが強くなった」など自信回復がみられます。

パソコン講座は、一期生はWord・Excelの初級レベルを、二期生はExcel検定を中心に進められました。一期、二期ともパソコン講座は100%の満足度でした。それは、パソコン技術を教えることにとどまらず、履歴書の書き方と絡ませた実践的パソコン指導や落ち込みそうな状況を推し量って励ますという講師の指導姿勢ゆえと思われる。

受講終了時点で就職活動をしている人が47%、実際にすでに一期生7人の就職が決定するなど、働くことへの前向きな変化は、当講座実施の成果といえます。

### ■成果2(1年雇用型) 共に成長し就職決定

求人募集を出して臨時職員として採用した雇用型の4人の成長は、就労意欲の面でも仕事力の面でも目覚ましく、積極的な就活で2月末時点ですでに2人が希望に近い仕事で、新たな職場を得ました。これには、研修で招いたマザーズハローワーク職員との出会い・連携も大きな力になりま

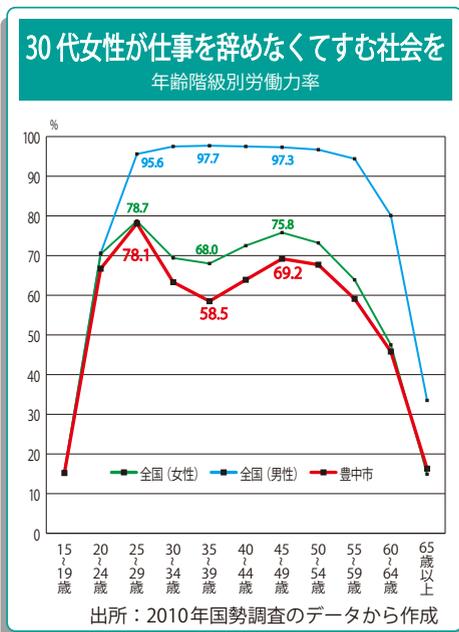


図1

した。就職が決まった2人は「収入を得ながらシングルマザーの各種支援制度なども学び、仕事への向き合い方やパソコンも学び、安心して就職活動ができました」と振り返っていました。

採用後は、彼女たちが雇用された企業を訪問し、「協力関係を築いていきたい」との私たちの意向を伝えています。こうした成果とともにOJT (On the Job Training) にあたった職員の成長は、すてっぷの大きな財産となって残るうれしい結果となりました。

## ■「女性が働いて生きる」を当たり前

すてっぷは、「男女の自立・あらゆる分野への対等な参画・男女の責任の分かち合い」を促進する事業を行うことを求められています。

女性が当たり前働ける社会の実現は、すてっぷが単独の事業ではできません。今回は国の予算で支援を実施しましたが、事業継続には財政確保をどうするかが今後の課題です。女性本人と企

業双方に寄り添う支援の在り方を豊中市の就労支援実績に学びながら、とよなか男女共同参画推進センターとしても協力企業拡大などネットワークを広げていきたいと思っています。さらに、今回の受託事業の経験を活かし、すてっぷにおける女性就労支援事業に反映させていきます。

\*  
\*  
\*

4月以降の講座詳細はp.8を参照またはホームページをご覧ください

### 地域人づくり事業 (受託事業) の概要

この事業は、就職支援のために行う交付金事業です。当財団は、厚生労働省の補助を受けた豊中市 (市民協働部雇用労働課) から女性就労支援事業として受託しました。具体的には、以下の2種類の事業を1年間 (2014年9月1日～2015年8月31日) に渡って行います。

#### 結婚・出産等により離職した女性のためのICT能力活用就業促進事業 (非雇用型)

結婚や出産等でブランクのある女性を対象とした短期集中講座 (パソコン+就活実践) 等を定期的で開催し、参加者は実施毎に募集します。講座を通じてブランクや家庭事情などで働くことに不安を抱える参加者がパソコンスキルをアップさせ、自信を持って前向きに一步踏み出すことをめざしています。

#### ひとり親家庭の親のためのICT能力活用就業促進事業 (雇用型)

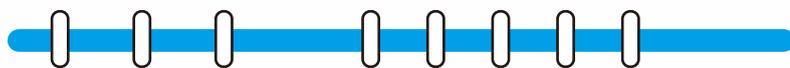
臨時職員としてすてっぷに雇用された4人の女性は、さまざまな研修 (資格取得やビジネスマナーなど) を受け、すてっぷ職員によるOJTで仕事経験を積み、働くことへの自信を取り戻すことをめざします。すてっぷでの勤務と並行して就職活動を行い、期間の途中で就職による退職者が出た場合は新たに臨時職員を募集します。

#### 非雇用型

2014年 10月 11月 12月 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

#### ① もう一度働く! 講座

〈入門講座〉



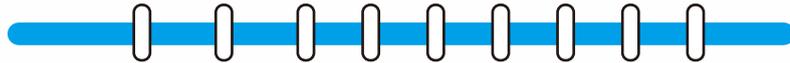
\*再就職のモヤモヤ脱出  
\*何度でも受講可  
(定員 25人×8回)

〈短期集中講座〉



\*1回のみ受講  
\*11日間の連続講座  
(定員 18人×4回)

#### ② 就活カフェ



\*就活中の悩みを共有  
\*何度でも受講可  
(定員 10人×9回)

#### ③ 事業者向けセミナー



\*女性も働きやすい職場を企業と一緒に考える  
(定員 25人×2回)

#### ④ 合同企業説明会



\*企業が何を求めているかを直接聞いてみる  
(15事業所×2回)

#### 雇用型

研修

研修

\*希望の仕事に就く



就活実践講座を通して自信を取り戻す

すてっぷ職員からのOJTで仕事に従事

パソコン講座、介護事務管理士対策講座、しごと準備、個別面談など

講座を修了された方の中からお二人に、講座を受けて思ったことやその後のことを伺いました。



**S.Sさん**  
年代：40代後半  
家族：夫と子ども(高校生)

### 仕事歴

新卒で正社員(結婚退職)  
↓  
再就職でパートに  
↓  
転職して正社員に(会社倒産)  
↓  
再就職でパートに(妊娠退職)  
↓  
ブランク期間 17年

## 今が再就職の最後のチャンスかも…と思って

再就職を考える度に介護やPTA役員でタイミングを逃し、17年が過ぎました。義父母を見送り、改めて再就職を考えたのがここ1~2年のこと。けど、土日祝が休みの仕事を探すと「WordとExcelのできる人」と書いてあって、応募できませんでした。PTAの書類作成で Word や Excel は使ってたけど、「仕事で使える」と言える自信がなくて。

そんな時、他県に住んでいる同い年の友達から「地元の職業訓練校で資格を取って再就職できたよ、豊中も何かあるはず」と言われ、すてっぶの再就職講座を見つけたんです。無料で Word と Excel の両方を学べるので、申込みました。

テキストも買わずに我流だったパソコンは、講座できちんと学べたのが良かったです。就活実践講座は8コマもあって、

最初「そんなに?」って思ったけど、社会保障制度とか初めて知ることも多くありました。11日間休まず通って、働いた時の自分や家族をイメージできたし、最後に修了書をもって「私、やれた!」って思えました。

あと、一緒に受講した人たちと話せて、みんな同じように悩んで励まし合えたのもすごく良かったです。

講座最終日に、登録以来連絡の無かった派遣会社から初めての依頼があり、数日ですが17年振りに働きました。前は頭で考えてばかりで何も行動しなかったけど、講座を受けるという一歩を踏み出せたから、派遣の仕事も来たと思ってます。すてっぶ以外でも、豊中市はいろんな再就職支援をしているので、そういうのも利用しながら仕事を見つけます。「やっぱり働きたい!」ので。



**K.Mさん**  
年代：40代前半  
家族：夫と子ども(3歳)

### 仕事歴

新卒で契約社員  
↓  
転職で正社員(長時間労働で退職)  
↓  
派遣社員  
↓  
ブランク期間 8年

## 子どもの幼稚園入園のタイミングで再就職を考えて

すてっぶのキッズスペースを以前から利用していて、この講座のチラシを見つめました。子どもが次の春から幼稚園に入るので再就職を考え始めた頃でした。正社員の時に Word と Excel は使ってたけど、最新 OS を触ったこと無いのが不安だったので、このパソコン講座が Windows 8 に対応していたのが決め手でした。

子どもが小さいと毎日同じことを必死に繰り返して、自分のことを考える時間なんて持ってませんでした。就活実践講座でもやもやしてた頭が整理されたし、行動を意識づけることの大切さを学びました。病児保育を探そうとか、夫と話したりして、今まで自分が「ふわっ」と生きてきたことに改めて気づけたんです。

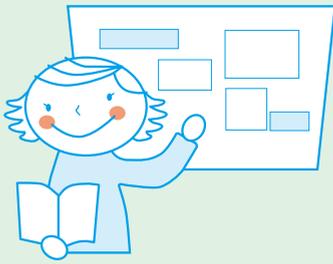
実は昨日、面接を受けたんです。講座を終えてすぐ応募したパートの求人、100人以上の応募者から書類選考で残った6

人に入れたことは、自信になります。

面接の前日は、めちゃめちゃ緊張してました。何色のストッキングを履けばいいかわからなくて、一緒に講座受けた人にメールで「肌色」って教えてもらうくらい。面接では予想外の質問に上手く答えられなかったけど「これは練習や」って開き直って。今回がダメでも、次があるって思ってます。

就職活動はものすごくエネルギーがいるから、自分一人では途中であきらめてたかも。講座の後も、就活カフェで他の人と話したり森田先生に話を聞いてもらったりできるから、目先のことに振り回されずにいられると思います。

友達から「講座の前と後で、すごく変わったね」って言われたけど、自分でも本当にそう思う。夫に養われるんじゃないって、自分の足で立ちたいんです。



## もう一度働く!講座(第1期)講師からのメッセージ

短期集中講座で就活実践講座とパソコン講座を担当されたそれぞれの講師に、今回の講座の特徴や成果について伺いました。

### 『働くこと』に一步を踏み出すあなたをサポート

#### ■就職準備相談(p.8参照)の課題を講座で解決したい…

「家庭生活だけでは物足りない」「仕事の中でも充実したい」との思いで、女性たちは就職準備相談に来られます。家庭も仕事も大切にしながら自分らしくいきいきと活躍する人生の計画を一緒に考え、行動するための土台作りのサポートを相談員として行っています。けれども、ブランクがあることによる自信のなさや家族への負担を考えてしまい、計画を立てても一步を踏み出せない女性はたくさんおられます。

今回の「もう一度働く!講座」では、そんな女性たちに「元気・やる気・頑張る意欲」を育て、少しでも自信を持って「働くこと」に一步を踏み出す、行動化を促すプログラムを企画しました。

#### ■就活実践講座の特徴…

自分の良いところに目を向け、自分の意思で行動する意欲を持てるように、「働きたい」という同じ思いを持った仲間と一緒に考えていく、双方向のコミュニケーションを活用したグループワーク中心の講座です。

その中で、4つの目標を設定しました。

- ①毎日9:30～15:30の講座に出席し、働くことを意識した生活習慣を身につける
- ②自分の本当の望みは何か、将来の目標を明確にするために、自分自身についてよく考える
- ③今の自分にできること(強み)を探し、実際の雇用環境とのすり合わせを行う
- ④自分の考えや行動に責任を持ち、なりたい自分になるための長期&短期計画を立てて発表する

#### ■講座を通して…

参加者の皆さんは、今まで経験したことのない学習の連続で、大変な思いをされたと思います。

ところが、講座の回を重ねるにつれて、緊張してなかなか話せなかった方が積極的に自分のことを話すようになったり、働きたい気持ちをご家族と話し合い自分が働くことに理解を求められたり、就職活動をするための準備を始めると、前向きな行動をおこされていきました。

キャリアカウンセラー  
すてっぷ就職準備相談  
相談員

森田江里子



#### <プロフィール>

大手家電メーカーを結婚退職、3人の子育てをしながらパート勤務を始める。公益財団法人21世紀職業財団講師など幅広く活躍中。

#### ■講座修了生やこれから講座を申込み方へのメッセージ…

これからの人生も楽あれば苦ありの連続でしょうが、「苦しさを乗り越えると、人は成長する」と言います。ほんの少し頑張ることが、次につながります。経験することに無駄なことは何もなく、経験にどんな意味づけをするかは自分の気持ち次第。一步一步確実に、しっかりと考えながら、「望みをかたちに」していきましょう。

### 「パソコンが使える=自分から動ける」

#### ■今回の特徴…

今回の講座は企画段階から森田さんやすてっぷ講座担当者と打合せをして、目標を「再就職活動で『パソコンが使える』とアピールできるようになる」と設定しました。通常のパソコン講座では「ただ習っただけ」で終わってしまいがちですが、「講座終了後も使うぞ!」という意識を持っていただきたいと思います。

#### ■講座を実施して…

パソコン講座の内容自体は、これまでとほぼ同じです。ただ、仕事で求められるレベルを、事例を交えて具体的に説明するよう意識しました。

この講座だけでパソコンスキルが劇的にアップすることはないかもしれませんが、分からないことを質問でき、

自分のスキルと仕事で求められるレベルの差を確認できることが、この講座の利点だと思います。

#### ■講座修了生やこれから講座を申込み方へのメッセージ…

パソコンは、道具です。資格がなくても、使い慣れれば自信を持って「使える」とアピールできます。私たちが講座でするのは、その自信を取り戻すサポートです。

仕事では、一から十まで教えてもらえないこともあります。「教えてもらえないからできない」ではなく、自分から質問する・調べてみるなど積極的にアクションをおこせることが、パソコンに限らず仕事ができる人になることだと思います。

株式会社ヴェルジェム  
岩崎仁美



#### <株式会社ヴェルジェム>

2002年からすてっぷ主催のパソコン講座講師を個人で引き受けていた女性たちが、パソコンスキルの高い知人女性にも声をかけ、2006年に会社として設立。コーディネートを担う岩崎さんと4人の女性インストラクターでパソコン講座などを請け負う。分かりやすく丁寧な指導が受講者に好評。



情報ライブラリーでは、講座やテーマ別のブックリストを作成・配布しています。ここにあるブックリストは再就職講座のために作成しました。興味のある方は情報ライブラリーのカウンターでお問合せください。

もう一度働く！入門講座ブックリスト

## 働きたいあなたにこの一冊を

|            | タイトル                                   | 著者                          | 出版社           | 出版年     | 冊数/売    |         |
|------------|--|-----------------------------|---------------|---------|---------|---------|
| まずは、この1冊から | 1 「働く」ために必要なこと                         | 品川 裕香/著                     | 筑摩書房          | 2013    | 366.3 売 |         |
|            | 2 あしたはきつと転職：働きたい女性のためのコーチング            | 守橋 朋子/著                     | 文芸社ビジネスアート    | 2007    | 336 売   |         |
|            | 3 働くママに効く心のビタミン                        | 上田 理恵子/著                    | 日経BP社         | 2009    | 366.3 売 |         |
|            | 4 妻が再就職するときセカンド・チャンス社会へ                | 大沢 真知子 鈴木 晴子/著              | NTT出版         | 2012    | 366.3 売 |         |
|            | 5 女性の再就職力 いくつになっても今が旬                  | 坂巻 美和子/著                    | 北実堂出版         | 2008    | 366.3 売 |         |
|            | 6 家事労働ハラスメント                           | 竹俣 三恵子/著                    | 岩波書店          | 2013    | 366.3 売 |         |
|            | 7 「育休世代」のジレンマ                          | 中野 円佳/著                     | 光文社           | 2014    | 366.3 売 |         |
|            | 8 女、一生の働き方 貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ         | 樋口 恵子/著                     | 海竜社           | 2010    | 366.3 売 |         |
|            | 9 ママの仕事復帰のために                          | フザーリング ジャパン マザーリングプロジェクト/編  | 労働調査会         | 2014    | 366.3 売 |         |
|            | 10 さあ、育休後からはじめよう                       | 山口 理栄/著                     | 労働調査会         | 2012    | 366.3 売 |         |
| 心強い経験談     | 11 主婦40歳、復職めざしてます                      | 現代 洋子/著                     | KADOKAWA      | 2014    | 366.2 売 |         |
|            | 12 主婦が、仕事を、探すということ。高学歴40代妻たち、涙と笑いの再就職戦 | ウインズ望月希子と就活中の主婦たち/編著        | 東洋経済新報社       | 2019    | 366.2 売 |         |
|            | 13 私だって働きたいっ！                          | 小澤 佳代子/著                    | クワイ           | 2007    | 366.3 売 |         |
|            | 14 子育てがプラスを生む「逆転」仕事術                   | 小室 源彰/著                     | 朝日新聞出版        | 2014    | 366.3 売 |         |
|            | 15 ママ、今日からパートに出ます！                     | 野原 広子/著                     | KADOKAWA      | 2014    | 366.8 売 |         |
|            | 知ってほしい                                 | 16 知らないで損するパート&契約社員の労働法     | 清水 直子/著       | 東洋経済新報社 | 2010    | 366.1 売 |
|            |  | 17 就職・転職に有利な女性の資格金ガイド'15年版  | 成実堂出版編集部/編著   | 成実堂出版   | 2014    | 366.2 売 |
|            |  | 18 天職が見つかる女のお仕事バイブル         | なでこベスト就活委員会/著 | PHP研究所  | 2014    | 366.2 売 |
|            |  | 19 履歴書・職務経歴書と添付手紙の書き方'16年版  | 福沢 恵子/著       | 成実堂出版   | 2014    | 366.2 売 |
|            |  | 20 働くママを支援する最新制度とお金まるわかりガイド | 森 俊美栄/著       | 秀和システム  | 2014    | 366.3 売 |

©すてっぷ情報ライブラリー 2015.2

ブックリストの中から1冊紹介します

### 『主婦40歳、復職めざしてます』

現代 洋子  
KADOKAWA 2014年  
【366.2・ゲ】



出産や夫の転勤で退職し、専業主婦を頑張ってきた39・40・42歳の3人組が、教育費、ローン、夫の収入減のため、再就職をめざします。いざ仕事を探すとみると、そう簡単にはいきません。高学歴でも、仕事に役立つ資格がなく、パソコンも思うようには使えず、家族の理解を得るのも一苦勞。何度も壁にぶち当たりながら、3人3様の仕事を見つけていきます。著者の実体験がコミックに描かれ「そうそう、これってあるよね」と頷けます。働き始める前に知っておきたい情報も、肩肘張らずにゲットできます。



## 「このまちで楽しく生きる～仕事人間じゃない、新しい自分～」開催しました！

### 講座報告

1月24日(土)に、これから地域活動を始める方を対象とした講座を実施しました。

前半は、地域活動の先輩として永田良昭さん(とよなか市民活動ネットきずな代表理事)と扇田行雄さん(伊丹酒蔵通り協議会事務局長)に、長年にわたる経験を話していただきました。お二人の活動内容は違いますが「自分の得意分野や、関心が持てる場所に具体的に出かけていき、そこで楽しい時間を過ごすことができる」と、人との繋がりが広がり、究極の介護予防にもつながる「色んな人がいる、と割り切る『いいかげんさ』を持つことが、活動を続けていくコツ」「覚悟や決意ではなく、これができたら楽しいだろう、と考えて一歩踏み出すこと」「若い人を巻き込もうと思うなら、自分から歩み寄ることが大切」という活動を楽しみ人と関わる姿勢に共通点がありました。参加された方々は、経験に裏打ちされたメッセージに、熱心に耳を傾けておられました。



体験談を話される永田さん

後半は、参加者による意見交換会を行いました。少人数のグループに分かれ、お互いの自己紹介や活動への自分の想いなどから、様々なテーマへと話が広がりました。終了後のアンケートでも「時間が足りない！」と声が多数上がるほどの盛況ぶりでした。

実はこの講座への参加自体が、地域で活動を始める第一歩。様々な人とつながるイメージを、身を持って体験していただけたと思います。



参加者と一緒に話す扇田さん

＜講座アンケートより＞

- ・とりえず色々なところに勇気をもって出かけてみることで感じました。
- ・これからの「生き方のヒント」が得られました。ありがとうございます。
- ・新しい出会いもあり、活力を頂きました。感謝です。

# 男性も、女性に対する暴力に反対の声を上げよう！ ～ホワイトリボンキャンペーンに携わって



**多賀太**  
(たが ふとし)

- ・関西大学文学部教授
- ・豊中市男女共同参画審議会委員
- ・ホワイトリボンキャンペーン・KANSAI 企画委員会座長

## <プロフィール>

九州大学助手、久留米大学准教授などを経て2008年に関西大学に着任。専門は教育社会学、男性学。1990年代半ばから、関西や九州の市民グループで、男性の生きづらさの解消や男性のあり方の問い直しに取り組む活動に参加。著書に『揺らぐサラリーマン生活』ミネルヴァ書房、『男らしさの社会学』世界思想社、『男性のジェンダー形成』東洋館出版社など。

## <ひとこと>

ホワイトリボンキャンペーン・KANSAI では、公開学習会を開いたり、グッズ販売の利益を暴力被害女性の支援団体に寄付したりしています。

<http://whiteribbon-kansai.blogspot.jp/>

## 私を変えた一言

私は、20年ほど前から男性の視点で男女共同参画を推進するいくつかの市民活動に関わってきましたが、当初は、女性に対する暴力の問題に関わることは避けてきました。なぜなら、私自身は暴力を振るっていないのに、「女性に対する暴力」の話をされると、まるで男である自分が責められているかのような気がして居心地が悪かったからです。

しかし、こうした私の認識は、2001年来日した「ホワイトリボンキャンペーン」の創始者マイケル・カウフマンとの出会いによって大きく変わりました。彼が語った次の言葉は今でも忘れられません。「女性に暴力を振るっていない男性が罪悪感を覚える必要はない。しかし、女性に対する暴力をなくすために男性にもできることがあるのに何もしていないとすれば、そのことはぜひ問い直してほしい」。

## ホワイトリボンって何？

女性に対する暴力根絶をめざす国際的な運動としては「パープルリボン」がよく知られていますが、「ホワイトリボンキャンペーン」は、女性に対する暴力反対の声を男性が率先して上げようという取り組みです。

きっかけは、1989年、カナダの有名工科大学に若い男が侵入し、女性蔑視の言葉を叫びながら女子学生14人を殺害して自殺を図った事件です。この問題を深刻に受け止めたカナダの男性たちが、女性に対する暴力に反対する意思表示として白いリボンをつけるよう呼びかけたところ、カナダ全国で約10万人もの男性がこれに賛同して応えました。現在この運動は50か国以上に広がっていると言われています。

日本にも、この流れを汲む「ホワイトリボンキャンペーン・KANSAI」の活動

があります。2012年、来日した英国ホワイトリボンキャンペーン理事の講演に感銘を受けた人々の発案で内閣府助成事業として発足し、現在は、男性主体の市民活動として、NPO法人「女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ」などと連携しながら啓発を行っています。私も発足時から運営に携わっています。

## 男性だからこそできること

男性からの暴力被害に遭った女性や、母親に暴力を振るう父親を見て育った子どものなかには、男性をまったく信用できなくなったり、暴力的な「男らしさ」しかイメージできなくなったりしている人も少なくありません。そうした人々が少しでも安心して暮らせるよう、これ以上将来の加害者になる男性を増やさぬよう、私たち大人の男性には、自らが非暴力的な男性の良きモデルとなり、それを社会に示していく責任が課せられているのではないのでしょうか。

確かに、男性が胸に白いリボンを付けただけで、暴力被害がすぐになくなるわけではないでしょう。しかし、白いリボンを通して男性たちの間に非暴力の輪が広がっていくならば、女性に対する暴力をなくす取り組みを支える大きな力になるはずです。



3月7日の公開学習会で司会をされている多賀さん

# すてっぷ主催事業のご案内

**\*すべての講座に一時保育あり(要事前申込み)\***

講座申込  
方法

\*電話・FAX・窓口・はがきにて受付 \*参加費の記載無いものはすべて無料  
\*申込み先の記載が無いものはすべて【すてっぷ講座申込】へ

## 男女共同参画を学びませんか

**すてっぷゼミナール①これってセクハラ?! これってパワハラ?! 職場の関係づくりを考える\*セクハラを防ぐために必要な視点について学びます\***とき:4月18日(土)14時~16時\*講師:牟田和恵(大阪大学教授)\*定員:25人(先着)

**男女共同参画週間事業「ピケティ入門」著者が語る~だれもが生きやすい幸せ社会とは~\*格差社会の現状を分析しなぜ格差が広がるのかその仕組みを知り、だれもが生きやすく幸せになるために、わたしたちにできることを考えます\***とき:6月27日(土)14時~16時\*講師:竹信三恵子(和光大学教授)\*定員:100人(先着)

## 女性の就労を応援します

**もう一度働く!入門講座\*いつかは働きたいけれど...の、もやもやスッキリ。1回だけでも何度でも受講できます\***とき:4月9日、5月28日、6月11日の木曜日9時30分~12時\*定員:働くことを考えている女性25人(先着順)

**就活カフェ\*就活プチ学習会と就活中の悩みを語り合います。1回だけでも何度でも受講できます\***とき:4月17日、5月22日、6月19日の金曜日14時~16時\*定員:働くことを考えている女性10人(先着順)

**もう一度働く!就活&初級 Excel Word 講座\*再就職に必要なライフプランや面接対策などと、Excel Word を学びます\***とき:4月24日~5月15日の月・火・木・金曜日9時30分~15時30分(全11日)\*定員:働くことを考えている女性18人(選考あり・入門講座受講者優先)

**もう一度働く!就活&検定 Excel 講座\*再就職に必要なライフプランや面接対策などと、Excelの検定受験対策講座\***とき:6月22日~7月9日の月・火・木・金曜日9時30分~15時30分(全10回)\*定員:働くことを考えている女性18人(選考あり・入門講座受講者優先)

**女性のための就労相談~自分にあった仕事を見つけないあなたに\*就職活動を始める前に「仕事」についての考えや気持ちを整理したい方、いますぐに働きたい方、それぞれのペースに合わせた相談ができます。就労支援情報コーナーで専門相談員が就労に向けた支援です\***とき:①就職準備相談:第1~第3月曜日10時~12時、第4月曜日18時~20時②就職活動相談:毎週金曜日10時~13時(祝日を除く)\*対象:①じっくりと就職準備を進めたい女性(市内在住優先)②すぐに仕事に就きたい女性(市内在住か市内で就労希望)\*要予約\*問合せ・予約:すてっぷ相談室

**働く女性のちょこっと相談~辞めなくてもいいかも\*制度のない小さな職場に勤める人も妊娠・出産で仕事を辞めなくてもすむように育児・介護休業などについて、予約なしの個別相談に対応します\***とき:第3木曜日17時~20時、第3土曜日13時30分~17時

**働く女性のための労働相談\*職場では聞きにくいあれこれ、社会保険、雇用条件、パワハラなどおたずねください。社会保険労務士が個別相談(電話・面接)に対応します\***とき:第4火曜日18時~20時、第2土曜日10時~12時\*要予約\*問合せ・予約:すてっぷ相談室

## 女性のためのカウンセリング

**土曜カウンセリング\*平日に相談に来られない方のための相談日です。女性カウンセラーと一緒に考えます\***とき:第1土曜日\*要予約\*時間は申込み時に指定します\*問合せ・予約:すてっぷ相談室

## 子育て中のあなたを応援します

**保育つきライブラリー\*保護者のライブラリー利用時に、子どもを一時保育で預かります\***とき:4月13日、5月11日、6月8日の月曜日10時~12時\*対象:1歳~就学前の子ども15人\*一時保育料:540円(子ども1人につき)\*要予約(先着順)\*問合せ・予約:すてっぷ情報ライブラリー

**両親教室\*沐浴・おむつ交換、抱っこの実習、個別相談、妊婦体験、心音を聞くなどの実習、働く女性のちょこっと相談です\***とき:4月25日(土)、6月27日(土)①10時~12時、②13時45分~15時45分\*場所:すこやかプラザ(豊中市岡上の町2-1-15)\*定員:①②各50組\*申込み:豊中市健康福祉部母子保健係(TEL.06-6858-2293)

**ママカフェブックトーク\*「子どもたちに伝えたい私の大切な本」をテーマに、参加者が本を持ち寄ってお互いに本を紹介。1歳未満の子どもも一緒にどうぞ。1歳~就学前の子どもは一時保育をご利用ください(要予約)\***とき:5月11日(月)11時~12時

## すてっぷシネマ

刑務所から出所した女性と周囲の人とのつながりを描いたフィンランド映画です

**「ヤコブへの手紙」**

\*とき:4月24日(金)19時~

## 市民企画委員を募集します

「やっぱり本が好き」をテーマに情報ライブラリーを活用した講座等を企画・運営する委員を募集します\*定員:6人程度\*応募締切:5月12日(火)

## スキルアップを応援します

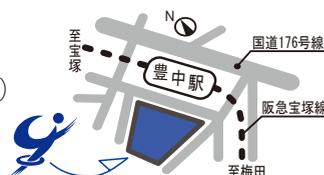
**トラベル英会話\*旅行での簡単な英会話を場面ごとに学びます\***とき:5月17日~6月14日の日曜日10時~12時(全5回)\*講師:常見仁美(通訳ガイド)\*定員:25人(抽選)\*費用:7,100円\*締切:4月24日(金)

**カラーコーディネイト入門\*色彩の基礎、パーソナルカラー、メイク、インテリアなどを学びます\***とき:5月24日~6月28日の日曜日14時~15時30分(全5回・6月14日除く)\*講師:藤脇美和子(カラーリスト)\*定員:30人(抽選)\*費用:7,800円\*締切:5月10日(日)

## とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

(指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)  
〒560-0026 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-501(エトレ豊中5階)  
■ 休館日 毎週水曜日・年末年始(12月29日~1月3日)  
■ 開館時間 9:00~21:30  
■ ホームページ <http://www.toyonaka-step.jp/>

季刊 すてっぷON! vol.8 発行日/2015(平成27)年3月31日  
編集・発行/一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団  
電話/06-6844-9735 FAX(共通)/06-6844-9706



阪急豊中駅を降りてすぐ  
豊中駅の西側です

**貸室申込\*問合せ**  
06-6844-9774 申込は9:00~17:00  
貸室利用は9:00~21:30

**講座申込\*問合せ**  
06-6844-9773 9:00~17:30

**情報ライブラリー**  
06-6844-9735 日曜10:00~17:00  
月・火・木・金・土曜10:00~20:00  
<休室日>  
毎月最終火曜日・祝日・蔵書点検期間

**相談予約\*問合せ**  
06-6844-9739 (日曜・祝日除く)  
9:00~12:00/13:00~17:00  
月・火・木・金曜18:00~20:00



**2015 年度調査研究事業**  
**女性就労の支援事業研究会 報告書**  
**地域人づくり事業を通じた女性の再就職について**

2016 年 3 月 31 日発行

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団  
〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-501 エトレ豊中5F  
TEL : 06(6844)9773 FAX : 06(6844)9706  
<http://www.toyonaka-step.jp/>